Canon

POWER LV-7490 PROJECTOR

使用説明書



PJLink[®]

ご使用の前に、必ずこの使用説明書をお読みください。 特に「安全にお使いいただくために」の項は必ずお読みになり、正しくご使用ください。 またお読みになった後、この使用説明書をいつでも見られる場所に保管してください。

本製品は日本国内用に設計されております。 電源電圧の異なる外国ではご使用になれません。

LV-7490 の特長

1024x768ドットの高解像度液晶パネル採用。

XGA画像をリアル表示

WXGA、SXGA、SXGA+、UXGAを圧縮表示

小型・軽量・コンパクトデザイン

使用後すぐに持ち運びができる、ダイレクトオフ

機能

□ご使用後にリモコンや操作パネルのボタンを 押さずに、電源コードを抜いたり、ブレーカ - を落として電源を切ることができます。

オートセットボタン

 ゴボタン1つでオートインプット(入力信号の) 有無を検知して投写)、PC 調整、キーストー ン(上下)のセットアップができます。

キャプチャー機能で好きな画像を取り込み、オリ ジナルの起動画面を作ることが可能

暗証番号を登録してセキュリティ強化

□「ロゴ暗証番号ロック」と「暗証番号ロック」 機能で、第三者の不正使用や誤作動を防ぐこ とができます。

電力の節約を助ける、パワーマネージメントモード

さまざまな設置方法に対応

- 王吊り
- 据置
- リア投映

快適なプレゼンテーションを支える豊富な機能

- □コンピューターの信号の判別と最適設定を自 動で行う「マルチスキャンシステム」と「オ ート PC | 機能。
- □見たい部分を瞬時に拡大または縮小して投写 できる「デジタルズーム」機能。(コンピュ ーターモード時)
- □ 投写画面の台形ひずみをスクエアな画面に補 正する 「デジタルキーストーン(台形補正)」 機能。
- □ 画面を一時的に静止させる「FREEZE」機能。
- □ 画面を一時的に消す「BLANK」機能。
- □ プレゼンテーション時に便利な「P-TIMER (プレゼンテーションタイマー)」機能。
- □「アンプ・スピーカ」内蔵で音響施設のない 出先等でもプレゼンテーションが可能。 □音声を一時的に消す「MUTE」機能。
- □「黒(緑)板」「カラーボード」モードでス クリーンがなくても黒(緑)板や色のついた 壁などに投写して通常のスクリーンに投写し たときの色合いを再現。

長寿命フィルター搭載

□目の料さが異なる3層構造のフィルターを搭 載しました。これにより、約5500時間※(エ コモード時)フィルターの交換が不要です。 ※時間は目安であり、ご使用の環境により交 換時期は異なります。

有線LAN機能

□ネットワーク経由でプロジェクターの操作・ 管理が可能。

~本説明書中の記号について~			
操作上の注意事項や制限事項を記載しています。			
関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。			
Ţ	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。		
[ボタン]名	リモコン、またはプロジェクター本体の入出力端子や操作パネルのボタン名 称を示しています。 例: [OK] ボタン、[COMPUTER IN 1]端子		
「メニュー」名	メニューの項目を示しています。例: 「入力」、「設定」		

本説明書に記載されているイラストや図形の形状は実際のものとは異なります。

もくし		はじ
安全にお使いいただくために - <i>4</i>	各種機能の設定77	_ に
正しくお使いいただくために10 淮 一〇	「設定」メニューで 各種機能の設定をする ・・・・・・ 77	準 備
イ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	保守とお手入れ100 ランプの交換 ······ 100 お手入れについて ····· 102	接設 続置
機器を りなく 端 」 操作パネルとインジケータ ·····18 リモコンのボタン ·····19	内部温度の上昇について ・・・・・105 インジケータ表示と プロジェクターの状態 ・・・・・・ 106	操基 作本
設置・接続23 設置のしかた・・・・・・・・・23 接続の例 ~コンピューター・・・25 接続の例 ~ビデオ1・・・・・26 接続の例 ~ビデオ2・・・・・27	故障かなと思ったら・・・・・・・ 108 付録 112 コンピューター システムモード一覧・・・・・112	設定・調整・
電源コードを接続する・・・・・・28 基本操作30 電源を入れる・切る・・・・・・30	メニュー内容一覧・・・・・・115仕様(別売品・・・・・・・・・・・121)保証とアフターサービス 127	各 種機 能の
 入力信号を選択する・・・・・・ 36 投写画面の調整や その他の操作・・・・・・・・・ 37 オンスクリーンメニューの 操作方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		お保 手 う と れ
入力の選択・設定・調整50		付 録
 入力を切り換える ・・・・・・・ 50 コンピューターシステムの選択・・ 52 ビデオシステムの選択・・・・ 54 コンピューターシステムの調整・・・56 画質の調整・・・・・・ 62 画面サイズの調整・・・・・・ 68 		保証とアフター

安全にお使いいただくために

安全上の注意を表す記号

この使用説明書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使い いただくため、大切な記載事項には次のようなマークを使用しています。これらの記載事 項は必ずお守りください。



使用上のご注意

安全に関する重要な内容ですので、ご使用の前によくお読みの上、正しくお使いください。

警告

以下のような場合はすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから、 販売店へご連絡ください。放置すると火災や感電の原因になります。





- ・変なにおいや音がする
- ・大きな音がしてランプが消えた
- 電源プラグを コンセントから 抜け
- ・水など液体が本機に入った ・金属類や異物が本機に入った
 - 本機を倒したり、落としたりしキャビネットを破損した



はじ

Đ

に

電源および電源プラグ、コネクターの取り扱いについて以下の点に注意してください。 火災や感電、けがの原因になります。

でください。

傷つきます。

さい。

警告



電源プラグを コンセントから 抜け

ぬれ手禁止



感電注意

感電注意

感電注意

・電源プラグやコネクターは、根元まで確実に差し込んでください。 また、痛んだプラグや、ゆるんだコンセントは使用しないでくだ さい。

・表示された電源電圧(交流100ボルト)以外の電圧で使用しない

・電源プラグやコネクターを抜くときは、電源コードを引っ張らず、
 必ず電源プラグやコネクターを持って抜いてください。コードが

・電源プラグやコネクターの接点部に金属類を差し込まないでくだ

・コンセント付き延長コードを使う場合は、つなぐ機器の消費電力の合計が延長コードの定格電力を超えない範囲でお使いください。

・お手入れの際は電源プラグをコンセントから抜いてください。

・ぬれた手で電源プラグやコネクターを抜き差ししないでください。

電源プラグとコンセントは定期的に点検し、プラグとコンセントの間にたまったホコリ・ごみ・汚れなどを取り除いてください。

設置のときのご注意

\Lambda 警告

本機の設置および取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。火災や感電、けが の原因になります。



はじ

めに

リモコンの電池についての安全上のご注意

警告 電池の取り扱いについて以下の点に注意してください。火災やけがの原因になります。 ・電池を火の中に入れたり、加熱、ショート、分解したりしないで ください。 ・電池は充電しないでください。 ・電池を使いきったときや、長時間使用しないときは電池を取り外 してください。 ・電池を交換するときは2本いっしょに交換してください。また、 種類の違う電池をいっしょに使用しないでください。 ・+と-の向きを正しく入れてください。 ・万一、液漏れなどで電池内部の液体が体についたときは、水でよ く洗い流してください。



- 本機の上に重い物をのせたり、乗らないでください。特に小さな お子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原 因となることがあります。
- ・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に設置しないでく ださい。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあり ます。
- ・動作中にレンズキャップを着けたり、レンズの前に物を置かない でください。火災の原因になることがあります。
- ・本機のレンズ・フィルターなどに付着したゴミ・ホコリの除去に 可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。本機内部ではラ ンプが高温になっているため、引火による火災の原因になること があります。



抜け

接触禁止

- ・長年のご使用で内部にホコリがたまると火災や故障の原因となる ことがあります。掃除は梅雨の前が効果的です。費用などは販売 店にご相談ください。
- ・天井取り付け(天吊り)などの設置工事は、専門の技術者または 販売店に依頼してください。工事の不備があると、事故の原因と なることがあります。



ランプ交換およびランプが破損したときは、以下の点に注意してください。感電や けがの原因になります。



電源プラグを

感雷注意

 ランプの交換を行う前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いて ください。

コンセントから 抜け



ランプが破損した場合は本機内部にガラス片が散乱している可能
 性があります。販売店へ本機内部の清掃と点検、ランプの交換を
 依頼してください。

注意

ランプの取り扱いに際しては、以下の点にご注意ください。



・使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。必ず電源 を切って1時間以上が経過して、ランプが十分冷えるまでお待ち ください。熱で、やけど・けがの原因となることがあります。

- ・ランプ交換の指示が出た(「LAMP REPLACE」インジケータが 点灯した)場合、交換時期を越えて使用し続けるとランプが破裂 する可能性が高くなります。すみやかに新しいランプと交換して ください。
 ・ランプが破損した場合、ランプ内部のガス(水銀を含有)や粉じ
- ・ラジンが破損した場合、ラジン内部のガス(水銀を含有)や粉しんが排気口から出たりすることがあります。すみやかに窓や扉を開け、部屋の換気を行ってください。万一、ランプから生じるガスを吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。
- ・使用済み水銀ランプを捨てるときは、蛍光灯と同じ取り扱いで各 自治体の条例に従って廃棄してください。

持ち運び・輸送上のご注意

液晶プロジェクターは精密機器です。衝撃を与えたり、倒したりしないでください。 故障の原因となります。

持ち運ぶときは、レンズの保護のためにレンズキャップを取り付けて調整脚を収納 してから、ケースに納めて持ち運んでください。車両・航空機などを利用し持ち運 んだり、輸送したりする場合は、輸送用のケースをご使用ください。 輸送用のケースについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

液晶パネルについて

液晶パネルの特性上、長時間同じ画面を表示していると、画面を変えたときに残像 (焼き付きのような症状)が発生する場合があります。投写する映像を変えたり、電 源を切っておくと回復します。

レンズに向けて強い光を照射しないでください

レーザー光線などの強い光を直接レンズに照射されますと、製品性能に影響を与え るおそれがありますので、ご注意ください。

● 電波障害自主規制について ●

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

はじめに

88

設置するときは次のことに注意してください

● 排気口の温風にご注意ください ●

排気口からは温風が吹き出します。温風の当たる所に次のものを置かないでください。



- ・スプレー缶を置かないでください。熱で缶内の圧 力が上がり、爆発の原因となります。
- ・金属を置かないでください。高温になり、事故や けがの原因となります。
- ・観葉植物やペットを置かないでください。
- ・熱で変形したり、悪影響を受けるものを置かない でください。





熱で変形や変色の恐れのあるものを上に置かないでください。また、動作中排気口 周辺ならびに排気口上部のキャビネットが高温になります。とくに小さいお子さま にはご注意ください。

● こんな場所には設置しないでください ●

湿気やホコリ、油煙やタバコの煙が多い場所には設置しないでください。レンズや ミラーなどの光学部品に汚れが付着して、画質を損なう原因になります。また、高温、 低温になる場所に設置しないでください。故障の原因になります。

使用温度範囲 5℃~35℃ 保管温度範囲 - 10℃~60℃

● 壁などからじゅうぶんな距離をあけて設置してください ●

吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱 がこもり、火災の原因や、プロジェク ターの寿命を縮めたり、故障の原因と なることがあります。押し入れ、本箱 など風通しの悪い狭いところに押し込 んだりしないで、風通しのよい場所に 設置してください。 (上方 20cm以上) 側面・後面各 50cm以)



排気口

(上方 20cm 以上、側面・後面各 50cm 以上、排気口 1m 以上)

● 結露にご注意 ●

低温の場所から高温の場所へ急に持ち込んだときや、部屋の温度を急に上げたとき、 空気中の水分が本機のレンズやミラーに結露して、画像がぼやけることがあります。 結露が消えて通常の画像が映るまでお待ちください。

エアフィルターのお手入れ

吸気口のエアフィルターはプロジェクター内部の光学部品(レンズやミラー)をホ コリや汚れから守っています。エアフィルターにホコリがたまるとプロジェクター を冷却する空気の流れが悪くなり、内部の温度が上がり故障の原因となります。エ アフィルターは掃除がいりませんが、吸気口周辺は定期的に掃除することをおすす めします。

天井から吊り下げてご使用になるときに





天井から吊り下げたり、高いところへ設置してご使用に なるときは、吸気口や排気口、エアフィルター周辺の掃 除を定期的に行なってください。吸気口や排気口にホコ リがたまると、冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇を 招いて故障や火災の原因となります。吸気口や排気口に ついたホコリは掃除機などで取り除いてください。

はじめに

正しい方向に設置してください

プロジェクターを安全にご使用いただくため、プロジェクターはかならず指定の方 向でご使用ください。指定以外の方向でご使用になると、プロジェクターの寿命を 縮めるだけでなく、故障や火災、事故の原因となります。

天井から吊り下げて設置するときは、落下しないようにしっかりと固定してください。設置については、お買い上げの販売店にご相談ください。



左右への傾きは各 20 度以内としてく ださい。



前後の傾きは各 40 度以内としてくだ さい。

傾きは 20° 以内に



上向きに設置して 投写しないでくだ さい。



傾きは 40° 以内に

下向き禁止

下向きに設置して 投写しないでくだ さい。



横に立てて設置し て投写しないでく ださい。

ランプについての安全上のご注意

プロジェクターの光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。この水 銀ランプは次のような性質を持っています。

- 衝撃やキズ、使用時間の経過による劣化などで、大きな音をともなって破裂したり、 不点灯状態、画像が次第に暗くなる、色合いが不自然になるなどして寿命が尽き たりします。
- ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯、寿命に至るまでの時間はそれ ぞれのランプで大きく異なります。使用開始後まもなく破裂したり、不点灯にな る場合もあります。
- 交換時期を超えてお使いになると、破裂の可能性が一段と高くなります。ランプ 交換の指示が出たら([LAMP REPLACE] インジケータが点灯したら)すみやかに 新しいランプと交換してください。
- 万が一、ランプが破裂した場合に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入らないように、ご使用中は排気口に顔を近づけないでください。

⚠ 注意 ランプが破裂した場合

プロジェクター内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部のガスや粉じんが排気口から出たりすることがあります。ランプ内部のガスには水銀が含まれています。破裂した場合は窓や扉を開けるなど部屋の換気を行なってください。万一吸い込んだり、目や口に入った場合はすみやかに医師にご相談ください。

ランプが破裂した場合、プロジェクター内部にガラス片が散乱している可能性 があります。お客様相談センターへプロジェクター内部の清掃とランプの交換、 プロジェクター内部の点検をご依頼ください。

使用済みランプの廃棄について ――

プロジェクターランプの廃棄は、蛍光灯と同じ取り扱いで、各自治体の条例に 従い行なってください。



ロジェクター本体の目立ちやすい箇所に貼り付け、プロ ジェクターがロックされていることを表示するのにご使 用ください。 (二) 124 ページ

<レンズカバーを取り付ける>

本機を動かすときや長時間お使いにな らないときはレンズキャップをはめて ください。

- **1** レンズキャップの穴にひもを通し ます。
- 2 本機を裏返します。
- **3** 本機底部の通し穴にレンズキャッ プのひもを通します。







機器をつなぐ端子



0	LAN 接続端子 (ア 123 ページ	(5)	S映像入力端子(了 26ページ
	有線 LAN ケーブルを接続します。		レデオ機器からのSビデオ信号をこの端子
	別冊「ネットワーク説明書」を参照して		に接続します。
	ください。		接続には S-ビデオケーブルを使用します。
2	COMPUTER IN 1/COMPONENT IN	6	CONTROL PORT (ア123ページ
	(コンピューター / コンポーネント入力端子)		コンピューターからシリアルデータでプロ
	(₹ 25、27、123 ページ		ジェクターを操作するときに使用します。
	コンピューターからの信号、ビデオ機器から	(7)	AUDIO IN(ビデオ音声入力端子)
	のコンポーネント信号を入力します。		「〒26ページ
	接続にはコンピューターケーブル(D-sub 用)		 ⑤ ⑧に接続された、ビデオ機器からの音声
	D-sub/ コンポーネントケーブルを使用します。		山力たての洪之に逆結 ます エノラルの辛
	※ 市販の長いコンピューターケーブルを使		
	うときは、この端子に接続してください。		戸は [L(MUNU)] 「端ナハ 接続してくたきい。
3	COMPUTER IN 2/MONITOR OUT	8	VIDEO IN(ビデオ入力端子)
	(コンピューター入力 / モニター出力端子)		(F 26 ページ
	 (コンピューター入力 / モニター出力端子) (〒 25、27、123 ページ 		CF 26ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続し
	 (コンピューター入力/モニター出力端子) (〒 25、27、123ページ) コンピューターからのアナログ信号を入力し 		(了 26ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続し ます。
	(コンピューター入力/モニター出力端子) (〒 25、27、123ページ コンピューターからのアナログ信号を入力し ます。また、コンピューターのモニター出力		(3726ページ) ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。
	(コンピューター入力/モニター出力端子) (9	 ごう 26ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。 AUDIO IN (PC/MIC) (コンピューター
	(コンピューター入力/モニター出力端子) 25、27、123ページ コンピューターからのアナログ信号を入力します。また、コンピューターのモニター出力 として切り換えて使用することができます。 接続にはコンピューターケーブル (D-sub)	9	 ごう 26ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。 AUDIO IN (PC/MIC) (コンピューター 音声 / マイク入力端子) (コンピューター
	(コンピューター入力/モニター出力端子) ○ 25、27、123ページ コンピューターからのアナログ信号を入力します。また、コンピューターのモニター出力 として切り換えて使用することができます。 接続にはコンピューターケーブル (D-sub 用)を使用します。	9	 ?26ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。 AUDIO IN (PC/MIC) (コンピューター 音声/マイク入力端子) ? 25、27ページ ②、③に接続されたコンピューターからの
	(コンピューター入力/モニター出力端子) (9	 ²⁶ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。 AUDIO IN (PC/MIC) (コンピューター 音声/マイク入力端子) ²⁵ 25、27ページ ²⁶ (3)に接続されたコンピューターからの 音声出力をこの端子に接続します。また、
4	 (コンピューター入力/モニター出力端子) ご 25、27、123ページ コンピューターからのアナログ信号を入力します。また、コンピューターのモニター出力として切り換えて使用することができます。 接続にはコンピューターケーブル (D-sub用)を使用します。 AUDIO OUT (音声出力端子)(可変) 	9	 ○ 26ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。 AUDIO IN (PC/MIC) (コンピューター 音声/マイク入力端子) ③ 25、27ページ ②、③に接続されたコンピューターからの 音声出力をこの端子に接続します。また、 マイクの設定後、マイク入力をこの端子に
4	 (コンピューター入力/モニター出力端子) 25、27、123ページ コンピューターからのアナログ信号を入力します。また、コンピューターのモニター出力として切り換えて使用することができます。 接続にはコンピューターケーブル (D-sub用)を使用します。 AUDIO OUT (音声出力端子)(可変) ア 25 ~ 27 ページ 	9	 26ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。 AUDIO IN (PC/MIC) (コンピューター 音声 / マイク入力端子) 3 25、27ページ ③ に接続されたコンピューターからの 音声出力をこの端子に接続します。また、 マイクへ入力をこの端子に 接続すると、音声入力とは独立してマイク
4	 (コンピューター入力/モニター出力端子) 25、27、123ページ コンピューターからのアナログ信号を入力します。また、コンピューターのモニター出力として切り換えて使用することができます。 接続にはコンピューターケーブル (D-sub用)を使用します。 AUDIO OUT (音声出力端子)(可変) ごち~27ページ むもしくは ⑨に接続された、投写中のコンピューターターまたはビデオ画面の辛声をなり 	9	 26ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。 AUDIO IN (PC/MIC) (コンピューター 音声 / マイク入力端子) 3 25、27ページ ③ に接続されたコンピューターからの 音声出力をこの端子に接続します。また、 マイクへ力力をこの端子に 接続すると、音声入力とは独立してマイク を使用することができます
4	(コンピューター入力/モニター出力端子) こ 25、27、123ページ コンピューターからのアナログ信号を入力します。また、コンピューターのモニター出力 として切り換えて使用することができます。 接続にはコンピューターケーブル (D-sub 用)を使用します。 AUDIO OUT (音声出力端子)(可変) こ 25~27ページ ① もしくは ③ に接続された、投写中のコ ンピューターまたはビデオ面面の音声を外 知のオーディナ機智の出力するピアマオ	9	 26ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。 AUDIO IN (PC/MIC) (コンピューター 音声 / マイク入力端子) 3 25、27ページ ③ に接続されたコンピューターからの 音声出力をこの端子に接続します。また、 マイクへ力力をこの端子に 接続すると、音声入力とは独立してマイク を使用することができます。
4	(コンピューター入力/モニター出力端子) こ 25、27、123ページ コンピューターからのアナログ信号を入力します。また、コンピューターのモニター出力 として切り換えて使用することができます。 接続にはコンピューターケーブル (D-sub 用)を使用します。 AUDIO OUT (音声出力端子)(可変) こ 25~27ページ ③ もしくは ⑨ に接続された、投写中のコ ンピューターまたはビデオ画面の音声を外 部のオーディオ機器へ出力する端子です。 書声出力なのいばよンピューとして使わたい	9	 26ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。 AUDIO IN (PC/MIC) (コンピューター 音声/マイク入力端子) 3 25、27ページ ③ に接続されたコンピューターからの 音声出力をこの端子に接続します。また、マイクの設定後、マイク入力をこの端子に 接続すると、音声入力とは独立してマイクを使用することができます。
(4)	(コンピューター入力/モニター出力端子) こ 25、27、123ページ コンピューターからのアナログ信号を入力します。また、コンピューターのモニター出力 として切り換えて使用することができます。 接続にはコンピューターケーブル (D-sub 用)を使用します。 AUDIO OUT (音声出力端子)(可変) こ 25~27ページ ③ もしくは ⑨ に接続された、投写中のコ ンピューターまたはビデオ画面の音声を外 部のオーディオ機器へ出力する端子です。 音声出力をヘッドホン端子として使わない でんどさい	9	 26ページ ビデオ機器からの出力をこの端子に接続します。 AUDIO IN (PC/MIC) (コンピューター 音声/マイク入力端子) 3 25、27ページ ③ に接続されたコンピューターからの 音声出力をこの端子に接続します。また、マイクの設定後、マイク入力をこの端子に 接続すると、音声入力とは独立してマイクを使用することができます。

操作パネルとインジケータ



1	^ラ ンプリプレイス LAMP REPLACE インジケータ	6	心 POWER ボタン
	(100、106、107ページ ランプの交換時期を知らせます。		○ 30、34ページ 電源を入り・切りします。
2	WARNING インジケータ (ア 105 ~ 107 ページ まくにまして ページ	0	1ンプット INPUT ボタン (ᢖ 36 ページ インプット(入力)を切り換えます。
	赤く点滅しく、内部の温度が異常に高く なっていることを知らせます。また、プ ロジェクターの内部の異常を検知したと き赤く点灯します。	8	ボリューム 方向 /VOLUME ボタン 『 45、46 ページ オンスクリーンメニューでのポインタの 段動やタ種メニューの調整、辛島の調整
3	AUTO SET ボタン () 37 ページ 「設定」メニューの「オートセットアップ」 で設定した「オートインプット、オート		や動や石種メニューの調整、自重の調整 に使用します。また、デジタルズームモー ドまたはリアルモードで画像を上下左右 に移動するのに使用します。
	PC(PC 人力時のみ)、オートキーストーン」機能を自動調整します。	9	A-ケー OK ボタン (了 45、46 ページ ポインタの指す項目を選択します。また、
4	× = ュ - MENU ボタン (デ 45 ページ オンスクリーンメニューを表示します。		デジタルズームモードで画像を拡大また は縮小するのに使用します。
5	パワー POWER インジケータ 「105~107ページ プロジェクターの状態を示します。 点灯(赤):電源を入れる準備ができました。 点滅(赤):ランプの冷却中です。 点灯(縁):プロジェクターは動作中です。 点滅(縁):パワーマネージメントモードが働い ています。		

進

備

リモコンのボタン



- オート セット AUTO SET ボタン 37 ページ 「設定」メニューの「オートセットアップ」 で設定した「オートインプット、オート PC (PC 入力時のみ)、オートキーストーン」 機能を自動調整します。
- ② COMPUTER 1/2 ボタン (ア 36ページ) 入力をコンピューター1(または 2)に切り 換えます。
- 3 ビデオ VIDEO ボタン (ア 36ページ 入力をビデオに切り換えます。
- S-VIDEO ボタン (ア 36ページ) 入力をSビデオに切り換えます。
- ⑤ 方向ボタン (ア 45、46ページ オンスクリーンメニューでのポインタの 移動やメニューの調整に使用します。また、デジタルズームモードあるいはリア ルモードで画像を上下左右に移動するの に使用します。
- ⑦ **MENU ボタン**() 45、46ページ オンスクリーンメニューを表示します。
- (8) FREEZE ボタン (ア 40 ページ) 画面を一時的に静止させます。
- ⑦ アジタルズーム
 D.ZOOM+/-ボタン (ア 70ページ デジタルズームの操作に使用します。
- ボリューム VOLUME+/-ボタン (ア42ページ 音量の調整に使用します。
- ② (ジ POWER ボタン)
 ③ 30、34ページ 電源を入り・切りします。

13 以降は次ページへ



- COMPONENT ボタン (ア 36 ページ)
 入力をコンポーネントに切り換えます。
- かっつ ボタン → 45、46ページ ポインタの指す項目を選択します。また、 デジタルズームモードで画像を拡大また は縮小するのに使用します。
- 「● * ストーン KEYSTONE ボタン ○ 38 ページ 画面の台形ひずみ(あおり)を補正します。
- ¹シラオ INFO. ボタン (予 48 ページ 投写中の信号状況や設定の状況を表示し ます。
- ・> プ
 ・> プ
 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・

 ・
- B P-TIMER ボタン () 42 ページ このボタンを押してから経過した時間を 表示させます。
- 1×-ジ IMAGE ボタン (ア 39ページ 画質モードを選択します。
- MUTE ボタン (ア 42ページ 音声を一時的に消します。

準備

準備

電池のいれかた

1 電池カバーを開けます。 2 電池を入れます。



ツメの部分を押して、引き 上げます。





+プラス、-マイナスに注 意して付属の乾電池(単4 形乾電池2本)を入れます。

3 電池カバーを閉めます。



カチッと音がするまで しっかり閉じます。

🦉 電池を使用するときのご注意



電池の破裂や液もれを防ぐために、次のことにじゅうぶんご注意ください。火災やけがの原因となります。

- ・種類のちがうものや新・旧を混ぜて使わない。
- ・乾電池は充電しない。分解しない。
- ・+極と一極の向きを正しく入れる。+極と一極をショ ートさせない。
- ・可燃ごみに混ぜたり、燃やしたりしない。
- ・電池を廃棄するときは、各自治体の指示および電池 製造者の指示に従って廃棄する。
- また、正しくお使いいただくために次のことをお守りください。
 - ・長い間使わないときは乾電池をとりだす。
 - 液もれが起こったときは、電池入れについた液をよくふきとってから新しい 乾電池を入れる。

リモコンで操作できる範囲

リモコンで離れて操作できる範囲は、本体 前面のリモコン受光部から約5m以内、上 下左右30度以内です。

※間に障害物があると操作の妨げになります。



🦉 リモコンを使用するときのご注意

- 本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当らないようにする。
- 液状のものをかけない。
- 落としたり衝撃を与えない。
- 熱や湿気をさける。

リモコンコードの設定

本機は2種類のリモコンコードの設定が可能です。2台のプロジェクターを使用する ときにリモコンコードを使い分けて使用することができます。リモコンコードを他 のコードに変更する場合、プロジェクター本体とリモコンの両方をあわせて切り換 える必要があります。

たとえば、本機 (プロジェクター)を「コード 2」に設定した場合、リモコン本体の コードも「コード 2」に切り換える必要があります。 3 91 ページ

リモコンコードの切り換え方

リモコンの [MENU] と [IMAGE] ボタンの 両方を同時に5秒以上押すと、リモコン本体 のコードが「コード2」に切り換わります。 リモコン本体のコードを切り換えた後は、リ モコンが正しく動作するか確認してくださ い。また、長期間電池を入れずにいると、リ モコン本体のコードが「コード1」に戻ります。



設置・接続 設置のしかた

スクリーンからのおよその投写距離と画面サイズの関係

画面サイズは、プロジェクターのレンズからスクリーンまでの距離によって決まります。スクリーンからレンズまで、約1.4m ~ 12.7mの範囲に設置してください。



スククーノ	1CX U	、亜固に投与したとさの元	聉 ヘンン

画面サイズ	40 型	100 型	150 型	200 型	300 型
幅 x 高さ (mm)	813 x 610	2032 x 1524	3048 x 2286	4064 x 3048	6096 x 4572
投映距離 (ズーム最大)	1.4 m	3.5 m	5.3 m	7.1 m	10.6 m
投映距離 (ズーム最小)	1.7 m	4.2 m	6.4 m	8.5 m	12.7 m

※ 上表はアスペクト比4:3 の画面サイズです。投写画像の内容により画面サイズが異なる場合があります。 3 68~76ページ

スクリーンに対して直角に設置する

投写したとき光軸がスクリーンに対して直角になるように設置してください。

※ スクリーンに対して過度に斜めに投写すると、部分的にフォーカスが合わなくなることがあ ります。 接設 続置

投写画面の高さと傾きを調整する

1 本体前方を持ち上げてから、調整脚ロックを 指で押して調整脚を伸ばし、指を離して調整 脚をロックします。

- 2 調整脚をまわして投写画面の高さと傾きを微調 整します。最大約12度まで上がります。
- ※ 持ち運ぶときは、必ず調整脚を収納してください。



🧓 左右方向の傾きは± 20 度以内に

左右の傾きが±20度以内になるように投写してください。傾きが大きいと、ランプの故障の原因となります。

🔍 画面の台形ひずみ(あおり)

調整脚を上げすぎると、投写角度がスクリーンに対して斜めになり、画面が台形 にひずみます。ひずみが大きい場合は、本体の設置台の高さなどを調整してくだ さい。

※ 画面の台形ひずみは、キーストーン調整でも補正できます。 🕝 38、75ページ

③ お使いになる部屋の明るさについて スクリーンは、太陽光線や照明が直接当たらないように設置してください。スク リーンに光が当たると、白っぽく見にくい画面になります。明るい部屋では、部 屋の明るさをやや落としてください。

設置・接続

接設 続置

接続の例 ~コンピューター

接続に使用するケーブル(*=市販のケーブルをお使いください。)

- D-sub ケーブル
- オーディオケーブル (ステレオミニプラグ*)

コンピューターの映像を外部出力にする設定は、ケーブルをつないだ後に行なって ください。設定方法はコンピューターの使用説明書をご覧ください。

※ ノートブック型は、キーボードの [Fn] キーを押しながら、ファンクションキー を押す、などの操作が必要な場合があり ます。



デスクトップ型

ノートブック型







※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信号が出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグ がささっていると、内蔵スピーカから音は出ません。プロジェクター本体から音を出したい ときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか、確認してください。

接続の例 ~ビデオ 1

接続に使用するケーブル

- ・ビデオ&オーディオケーブル (RCAx3)
- •Sビデオケーブル
- ・オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック)
- ※本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使い ください。音声ケーブルは、抵抗が内蔵されていないタイプを使用してください。抵抗内 蔵タイプでは、音声が小さくなります。





※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声信 号が出力されますが、[AUDIO OUT] にプラグ がささっていると、内蔵スピーカから音は出 ません。プロジェクター本体から音を出した いときは、[AUDIO OUT] にプラグがささって いないか、確認してください。

設置・接続

接設

続置

接続の例 ~ビデオ2

接続に使用するケーブル

- ・コンポーネント ケーブル ・コンポーネント /D-sub ケーブル
- ・オーディオ ケーブル (ステレオミニプラグ、または 2x ピンジャック)
- ※本機にはビデオ機器と接続するケーブルは付属されていません。市販のケーブルをお使い ください。(D-sub/コンポーネントケーブルは別売がありますが、3ピン部分の形状はメスになっていま す。ビデオ機器とつなぐときは市販のオスの形状のケーブルが必要になります。() 121ページ)

ステレオスピーカ / オーディオアンプ

ビデオ、DVD プレーヤ など





※ 内蔵スピーカからは、接続した機器の音声 信号が出力されますが、[AUDIO OUT] に プラグがささっていると、内蔵スピーカ から音は出ません。プロジェクター本体 から音を出したいときは、[AUDIO OUT] にプラグがささっていないか、確認して ください。

電源コードを接続する

電源コードをつなぐ前に、17、25 ~ 27 ページを参照してコンピューターやビデオ 機器を接続してください。

1 電源コードのソケット部分を本体後面の電源コード接続ソケットに差し込みます。



2 電源コードのプラグ部分をアース端子付き3ピンのACコンセントに差し込みます。



設置・接続

接設 続置

、警告

電源コード取扱上の注意

電源コードはかならず本機に付属のものをご使用ください。他の機器に使われてい るものを絶対にご使用にならないでください。事故や火災の原因となります。また、 本機に付属の電源コードを他の機器に使用しないでください。

🦹 ご使用にならないときは電源コードを抜いてください

本機は、リモコンや操作パネルの [**()** POWER] ボタンで電源を切っても待機電力* が消費されています。安全と節電のため、長期間ご使用にならないときは電源プラ グを AC コンセントから抜いてください。

* 待機中消費電力:0.5W/6.2W(スタンバイモード:エコ/ネットワーク)



電源プラグアダプタのアースリード線を接地してください。

感電の原因になります。

電源コードのプラグはアース端子付き3ピンプラグです。アースは確実に接地して ご使用ください。コンセントが2ピン専用(アース端子がない)場合は、アースエ 事を行ない、付属の電源プラグアダプタを使用して接続してください。アースはコ ンピューター使用時の電波障害の防止にもなっています。接地しないと、テレビや ラジオに受信障害をおよぼす原因になることがあります。

- 感電の原因となりますので、アース工事は必ず専門業者に依頼してください。
- アースリード線をコンセントに差し込まない でください。感電の原因となります。
- 電源プラグアダプタを使うときは、安全のため、コンセントに電源プラグアダプタを差し込む前にアースリード線をアースへ接地してください。また、外すときは電源プラグアダプタをコンセントから抜いたあとでアースリード線をはずしてください。





電源を入れる・切る

電源を入れる

電源コードをつなぐ前に、17、25 ~ 27 ページを参照してコンピューターやビデオ 機器を接続してください。

- 電源コードをACコンセントに接続します。
 28ページ
 [POWER] インジケータ(赤)が点灯します。
- 2 リモコンまたは操作パネルの〔○ POWER〕ボタンを押して電源を入れます。* [POWER] インジケータが赤から緑の点灯にかわります。約15秒間のオープニング画面とそのカウントダウン**が終わると画像が投写されます。スタート時画面左上に「ランプモード」(○ 90ページ)、入力モード、オートインプット*」が約4秒間表示されます。

このとき、「設定」メニューの「セキュリティ」内の、 「暗証番号ロック」(● 92ページ)を「オン」にして いるときは、暗証番号を入力します。

※暗証番号の入力方法は 33 ページを参照してください。 また、入力信号が見つからないときは、次ページの ガイダンスが表示されます。

- *1) 設定メニューで「ダイレクトパワーオン・オン」() 86ページ) に設定しているときは、電源コードを接 続すると同時にプロジェクターの電源が入ります。
 - 2)設定メニューで「オートインプット・オン2」(78ページ)に設定しているときは、電源が入ると同時に入力信号の検出を始めます。

** 設定メニューで、

- 「オンスクリーン表示・オン」(了 80ページ)、「ロゴ 選択・オフ」(了 81ページ)に設定しているときは、 カウントダウンは表示されますがオープニング画面は出 ません。
- 「オンスクリーン表示・オフ」(『 80 ページ) に設定しているときは、「ロゴ選択」(『 81 ページ)の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投写されます。
- 「オンスクリーン表示・カウントダウンオフ」(2780 ページ)に設定しているときは、「ロゴ選択」(2781 ページ)の設定に関係なく、ランプ点灯後すぐに投写されます。







入力モード、ランプモード、オー トインプットの表示◆

基本操作

入力信号が見つからないとき

無信号時に表示されます。表示されるガイダンスに合わせて接続状況を確認することができます。

- ※「オンスクリーン表示・オフ」(30ページ)のとき、メニュー表示などが現れているときは、 表示されません。
- 1 入力信号が見つからないときに下図 ① が表示されます。[ポイント] ボタンの上下でビデオまたはコンピューターを選択し、[OK] ボタンを押して決定します。
- 2 自動的に信号の有無を確認し、それでも入力信号が確認されないときは、下図 2 が表示されます。信号の種類やケーブルの接続状況、出力機器の状況を確認してください。

操基作本

※約30秒表示され、その後下図 ①に戻ります。このとき「オートインプット・オン1/オン2」 のときは信号を検索してから下図 ①に戻ります。





ケーブルが正しく接続されていても、映らないときは、 コンピューターの外部出力設定を使用説明書などで確認 してください。また、ノートブック型は、キーボードの [Fn] キーを押しながら、ファンクションキーを押す、 などの操作が必要な場合があります。



基本操作

操基

作本

暗証番号の入力

※30ページの「電源を入れる1・2」に続いて・・・

- **3**「暗証番号ロック」が「オン」のとき、30ページの「手順2」でカウントダウンが 終わったあと、暗証番号を入力する画面が現れます。
- 4 [ポイント] ボタンの上下で0~9の数字を選択し、[ポイント] ボタン右でポイン タを2けた目に移動します。(1けた目の表示が「*」に変わります。)この操作を 繰り返し、4けた全ての数字を入力します。



- **5**4けた全ての数字を入力したらポインタを[ポイント]ボタン右で「セット」に移動します。
- 6 [OK] ボタンを押して決定します。
 - ※ 数字の入力をやり直したいときは、[ポイント] ボタンの左右でやり直したいけたを選択 し、[ポイント] ボタン上下で数字を選び直します。
 - ※ 4 けた全ての数字を消したいときは、「クリア」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押し ます。
- 7 正しく入力されていると、「OK」が画面に表示され、プロジェクターを操作できます。



● 暗証番号が入力されないと、約3分後に電源が切れます。

「暗証番号ロック」とは?

管理者以外の暗証番号を知らない、第三者によるプロジェクターの操作を防止しま す。詳しくは 92 ページの「設定」メニューの、「セキュリティ」内の「暗証番号ロッ ク」を参照してください。

電源を切る

リモコンまたは操作パネルの [Ů POWER] ボタンを押すと、画面に「もう1度押すと電源が切れます」の表示が出ます。

もう1度押すと電源が切れます
 ※表示は約4秒間出ます。

2 表示が出ている間に再度ボタンを押すと画面と 音が消え、電源が切れます。 電源が切れると [POWER] インジケータが赤の 点滅に変わり、ランプの冷却を始めます。

🥘 ダイレクトオフ機能について

- ・ご使用後、リモコンまたは操作パネルの〔○ POWER〕ボタンを押さずに電源 コードを抜いて、電源を切ることができます。
 ※会議が終了してすぐに移動したいときなどに便利です。
- ・会議室やホールなど電源を集中管理している場所では、ボタンを押さずにブレーカーを落として電源を切ることができます。
 ※天吊りなどで手の届かない位置に設置したときなどに便利です。
- ・内蔵電源により、外部電源が切れた後も一定時間ファンが回転し、ランプを 冷却します。

🦉 電源を切った後、すぐには電源が入りません

電源を切った後、しばらくの間は次の点灯に備え、高温になったランプを冷却しています。この間は [**心** POWER] ボタンを押しても電源は入りません。[POWER] インジケータが赤く点灯すれば電源を入れることができます。

🥘 ランプを長持ちさせるために

ランプが発光を始め、安定しない状態のまま電源を切ると、ランプの寿命を縮める原因になります。約5分以上点灯させてから電源を切ってください。電源を切るときは、[① POWER] ボタンで操作してください。

🥘 冷却ファンについて

投写している最中、温度によりファンの回転速度が自動的に切り換わりますが、 故障ではありません。また、電源を切った後の、ファンの回転速度は調節するこ とができます。 () 95 ページ

🦉 ケースなどにしまう前に

本機は [**()** POWER] ボタンを押さずに電源コードをプロジェクターから抜いたり、 ブレーカーを落として電源を切ることができますが、すぐにケースなどに収納する と、本体がしばらく高温になり故障の原因となりますので、プロジェクターがじゅ うぶんに冷えてから、ケースなどに入れるようにしてください。

基本操作

パワーマネージメントモード機能とそのはたらき

本機にはパワーマネージメントモード機能が搭載さ れています。30秒以上信号が入力されず、またプ ロジェクターも操作されなかった場合、画面に「入 力信号なし」とタイマー表示が現れ、カウントダウ ンを始めます。信号が入力されず、また操作されず カウントダウンが完了すると、ランプが消灯し、電 力の節約とランプ寿命を助ける働きをします。 ※工場出荷時は「待機・5分」に設定されています。



操基 作本

※本機は、パワーマネージメントモードのカウントダウンを始めると、消費電力を下げるため にランプの明るさを徐々に暗くしていきます。その際にブルーバック上でちらつきが見える ことがありますが、故障ではありません。

パワーマネージメントモードの動作について

<u>設定が「待機」のとき</u>

- タイマーのカウントダウンが完了するとランプ が消灯し、ランプ冷却動作にはいります。ラン プ冷却中は [POWER] インジケータが赤く点滅 し、プロジェクターの操作はできません。
- ランプの冷却が完了すると [POWER] インジ ケータの点滅が緑に変わり、パワーマネージメ ントモードになっていることを知らせます。こ の状態のときに、信号が入力されたりプロジェ クターが操作されるとランプが点灯し、画像が 投写されます。

設定が「終了」のとき

- タイマーのカウントダウンが完了するとランプ が消灯し、ランプの冷却が始まります。ランプ 冷却中はプロジェクターの操作はできません。
- 2) ランプの冷却が完了すると、電源が切れます。



パワーマネージメントモード になると、[POWER] インジ ケータが緑の点滅を始めます。 (設定が「待機」のとき)

プロジェクターを 24 時間以上連続して使用する場合は 24 時間に一度電源を切り、1 時間休ませてください。休ませることによりランプをより長くご使用いただけます。

入力信号を選択する

[INPUT]、[COMPUTER 1/2]、[VIDEO]、[S-VIDEO]、[COMPONENT] ボタン

操作パネルの [INPUT] ボタン及びリモコンの [COMPUTER 1/2]、[VIDEO]、[S-VIDEO]、 [COMPONENT] ボタンで入力を選択することができます。

※ 正しい入力信号が選択されないときは、インプットメニューで正しい入力信号を選んでくだ さい。 3 50、51 ページ

[INPUT] ボタン

操作パネル



コンピューター1 (COMPONENT)

- ※「設定」メニューの中の「端子設定」で「モニター出力」を選択している場合は、「モニター 出力」と表示されます。
- ※「設定」メニュー内の「オートインプット」で「オン1/オン2」(● 78ページ)を選択しているときは自動的に入力が切り換わります。変換ケーブルで接続しているときには、入力信号が正しく検出されないときがあります。
基本操作

投写画面の調整やその他の操作

投写画面を調整する

画面の大きさを決める



[ズームリング]を回して画面の大きさを変更します。



[フォーカスリング]を回して、画像がもっとも鮮明 に映るように焦点を合わせます。



[AUTO SET] ボタン

「設定」メニューの「オートセットアップ」で設定した機能を自動調整します。 🕝 78、79ページ

・オートインプット

・オート PC(PC 入力時のみ)

・オートキーストーン (上下)

リモコンまたは操作パネルの [AUTO SET] ボタンを押 します。

※ 調整が完了すると、調整された適正な画面で、投写されます。

- ※「オートキーストーン(上下)」は、プロジェクターが設置されたときの傾斜を読みとり、台形ひずみを補正します。設置の状況によっては台形ひずみを完全に補正できないこともあります。そのようなときは、リモコンの[KEYSTONE]ボタン、または、設定メニュー内の「キーストーン」から、手動で補正を行なってください。
- ※ スクリーンメニューで「天吊り」機能が「オン」のときは、 「オートキーストーン」は選択できません。 (ア 71、72ページ

※ オート PC は入力信号が PC の時だけはたらきます。

「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の4項目を自動調整します。

※オート PC 機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に 調整できないコンピューターもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモード」 に登録してください。 757~59ページ

ズームリング (内側) フォーカスリング (外側)

操基 作本



[AUTO SET] ボタン



キーストーン調整(台形ひずみの補正)

[KEYSTONE] ボタン

リモコンの [KEYSTONE] ボタンを押します。「キーストーン」表示が現われます。 表示が出ている間に [ポイント] ボタンの上下で画面の台形ひずみを補正します。 [ポイント] ボタン上・・・画面上部の幅が縮みます。 [ポイント] ボタン下・・・画面下部の幅が縮みます。



[KEYSTONE] ボタン

キーストーン	¢
「キーストーン」	表示

※ 表示は約4秒間出ます。

- ※「オンスクリーン表示・オフ」(こ 80ページ)のときは表示されません。
- ※補正された方向の矢印は青で表示されます。(無補正の場合の表示は白色です。) ※最大の補正位置で矢印の表示が消えます。
- ※「キーストーン」表示が現れているあいだに、もう一度[KEYSTONE]ボタンを押すと、 補正前の状態に戻ります。
- ※「アスペクト」メニュー内の「キーストーン」からも調整することができます。 (₹ 75ページ)



- ※ キーストーン調整で補正した画面は信号をデジタル圧縮して映しますので、線や文字がオリ ジナルの画像と多少異なる場合があります。
- ※ 入力信号によっては補正量が変わることがあります。
- ※ キーストーンの設定値によっては、一瞬画像が乱れることがあります。

基本操作



「ユーザー 3」「ユーザー 4」と切り換わります。



 ※表示は約4秒間出ます。
 ※「オンスクリーン表示・オフ」(
 80 ページ)のときは表示されません。

操基 作本

*「カラーボード」の色の選択はメニュー画面で行ないます。 CP 63 ページ

画面サイズを選択する

[ASPECT] ボタン

[ASPECT] ボタンを押すと、現在選択されている表示モードが表示され、その後ボタンを押すごとにモードが切り換わります。



※表示は約4秒間出ます。
 ※「オンスクリーン表示・オフ」(80 ページ)のときは表示されません。

※「アスペクト」メニューからも調整することができます。 了 68 ~ 76 ページ

ランプの明るさを選択する

[LAMP] ボタン

ランプの明るさを「オートモード」、「ノーマルモード」、「エコ1モード」、「エコ2モード」 の4段階で切り換え・選択することができます。「エコ1/2モード」は、ランプの消費 電力を抑えることができます。



ノーマルモード・・・ 通常の明るさで点灯します。

● **エコ 1 モード ・・・** 通常の 70% ~ 80% の明るさで点灯します。

●, エコ2モード ・・・ 通常の 50% の明るさで点灯します。

※ボタンを押すごとに モードが切り換わります。

※「オートモード」は入力信号に応じた明るさでランプを点灯させます。

※「設定」メニュー内の「ランプモード」からも調整することができます。 💽 90 ページ

画面を一時的に静止させる

[FREEZE] ボタン

リモコンの [FREEZE] ボタンを押すと、再生 機器に関係なく投写画面だけが静止します。 静止中は、以下のマークが投写画面に表示さ れます。

※ リモコンまたは操作パネルのどのボタンを押し ても解除することができます。



※動作中画面左上に表示されます。



🥘 こんなときに便利です

プレゼンターがコンピューターで次の資料の準備をする間、視聴者には [FREEZE] ボタンで一時静止した画面を見てもらいます。準備中の無用な画像を隠して、スマ ートなプレゼンテーションが行なえます。

基本操作



[BLANK] ボタン

※表示は約4秒間出ます。

※「オンスクリーン表示・オフ」(30ページ)のときは表示されません。

🔍 ロゴ画面を表示させることができます

[BLANK] ボタンを2回押します。

「設定」メニューの「ロゴ」内の「キャプチャー」(2 ページ)を使い、「ロゴ選択 ユーザー」(3 81ページ)を選択していると、設定したロゴ画面を表示させることが できます。

🔍 こんなときに便利です

プレゼンテーション中にプレゼンターの話に集中してほしいときや、視聴者に見せ たくない画面があるときなどに便利です。

プレゼン時に経過時間または残り時間を表示する

[P-TIMER] ボタン

リモコンの [P-TIMER] ボタンを押すと「設定」メニュー内のカウントアップ/カウント ダウンのうち、選択されている項目が実行されます。もう一度 [P-TIMER] ボタンを押す と一時停止し、それまでのカウント時間を画面に表示します。さらに [P-TIMER] ボタン を押すとカウントが再スタートします。

また、カウント中に[P-TIMER] ボタンを3秒間長押しするとカウントがリセットされ、 カウント表示は消えます。



[P-TIMER] ボタン



※ 000 分 00 秒から最長 180 分 00 秒まで カウント時間を画面表示できます。

※ カウントアップ / カウントダウンの選択、カウントダウン時間の設定は、「設定」メニュー内の「P-timer」を参照してください。

💡 こんなときに便利です

プレゼンテーションの持ち時間が決められているときなど、プレゼンターは経過時間を 考えながら、スムーズなプレゼンテーションを行うことができます。

音量を調節する・一時的に消音する(MUTE)

ダイレクトボタンで音を調節する



リモコンまたは操作パネルの [VOLUME] ボ タン (+/-) で音量を調節します。音量バーを 目安にして調節してください。



リモコンの [MUTE] ボタンを押すと、表示が 「オン」になり、一時的に音が消えます。もう 一度 [MUTE] ボタンを押すか、[VOLUME] ボ タン (+/-) を押すと解除され、表示が「オフ」 になります。

- ※ [MUTE] ボタンは操作パネルにはありません。
- ※ [MUTE] ボタンを押すと「オン」「オフ」が切り 換わります。

音量の目安になります。



※表示は約4秒間出ます。

※「オンスクリーン表示・オフ」(80ページ)のときは表示されません。



基本操作

サウンドメニューで音を調節する

- **1** リモコンまたはパネルの [MENU] ボタンでメニューバーを出し、[ポイント] ボタ ン上下で「サウンド」メニューに合わせます。
- **2** [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右で、サブメニューに入り、[ポイント] ボタン上下で項目に合わせて [OK] ボタンで選択します。

サウンドメニュー

:4 入力		音量	33	
<i>。</i> PC調整		消音 マイク	オフ	
🎆 画質モード				•
🐣 画質調整		スタンハイマイク	オフ	
∢ ∭ サウンド				
🛄 設定				
 インフォメーション 				
💿 ネットワーク				
■終了	◀調整	\$	▶調整	●設定

※[OK] ボタンまたは、[ポイ ント] ボタン左でサブメニ ューに戻ります。

音量

[ポイント] ボタン右で音量が大きくなり、[ポイント] ボタン左で音量が小さくなります。音量のバーを目安に調節してください。

消音

[ポイント] ボタン上下で「オン」に切り換えると、一時的に音を消すことができます。 「オフ」にすると再び音が出ます。

※「オン」を選択していても、「音量」の数値を変更すると、自動的に「オフ」になります。

COMPUTER AUDIO IN 2 端子をマイク入力端子として使用する

このプロジェクターは「COMPUTER AUDIO IN 2」端子をマイク入力端子として音声 入力とは独立してマイクを使用することが出来ます。その際は以下の設定が必要です。

マイク

[ポイント] ボタン上下でマイク機能のオン・オフを切り換えます。「オン」が選択 されると、「COMPUTER AUDIO IN 2 」端子をマイク入力として扱い、マイク入力と 通常音声入力(映像と同期)を、スピーカーまたは音声出力端子から出力します。

マイクゲイン

マイク入力のゲイン値を調整できます。[ポイント]ボタン右で値が大きくなり、[ポ イント]ボタン左で値が小さくなります。バーを目安に調節してください。 ※マイク設定が「オフ」の時は選択できません。

スタンバイマイク

スタンバイ時の MIC 入力の有効 / 無効の設定を行ないます。

「オン」が選択されると、待機中にマイク入力をスピーカーまたは音声出力端子から 出力します。

※マイク設定が「オフ」の時は選択できません。

 ※「スタンバイマイク」を有効にするには、スタンバイモードを「ネットワーク」に設定する 必要があります。スタンバイモードが「エコ」に設定されている時は選択できません。
 36 ページ

基本操作

操基

作本

オンスクリーンメニューの操作方法

メニュー操作の基本を覚えてください

オンスクリーンメニュー (画面上のメニュー)の操作は、①ポインタを移動し、②ポ インタの指す項目を選択するのが基本です。

<u>オンスクリーンメニューの例</u>



<u>操作パネル</u>

<u>リモコン</u>



① ポインタの動かしかた

ポインタは、[ポイント] ボタンで上下左右に動かします。[ポイント] ボタンはリ モコンと操作パネルにあります。

② 項目の選択のしかた

ポインタの指す項目やアイコン(操作をイメージした図)を選択するには、[OK] ボタンを押します。[OK] ボタンはリモコンと操作パネルにあります。

操作の手順

画面にメニューバーを表示させる

1 リモコンまたは操作パネルの [MENU] ボタンを押すと、画面上にメニューが表示されます。(下図) メニューには選択できる項目が表示されます。

メニューを選択する

2 「ポイント」ボタンの上下で選択したい項目に移動させます。 表示されているメニューの右側に、選択した項目の詳細なメニュー(サブメニュー) が表示されます。

メニュー画面で調整や切り換えを行う

- **3** [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、調整する項 目を [ポイント] ボタン上下で選択します。
- 4 上下左右の [ポイント] ボタンや [OK] ボタンで、調整や切換を行ないます。それぞれのメニューの調整については、各メニューの説明の項目を参照してください。また、サブメニューの次にさらに詳細な設定をするメニューが表示される項目もあります。(この説明書内では、サブメニュー1・サブメニュー2などと表現します。)



🤍 ガイドについて

選択・実行できるボタンを表示します。下図はサブメニューのガイドの例です。



基本操作

×-	_ユ――筧		
メインメニュー	サブメニ	<u></u>	
 ①→→● 入力 ②→→ ② PC調整 	₽ 言語 メニュー表示位置 オートセットアップ	日本語	
 3→→■ 画質モード ④→→● 画質調整 	バックグラウンド オンスクリーン表示 ロゴ	青 オン	
	端子設定 パワーマネージメントモード ダイレクトパワーオン	コンピューター 2 待機 オフ	
	スタンバイモード P-timer	ネットワーク カウントアップ	
(8)── - (1) インフォメーション ※─── ⁶ ネットワーク	ランプモード	<mark></mark> ₽ 1/2	
■終了 4	◆移動 ▶次へ	⋘ 次へ	

1	入力 () 50 ~ 55 ページ 入力信号の選択をします。	コンピューター 1、コンピューター 2、ビデオ、S-VIDEO
2	PC 調整*(ア 56~60ページ お使いのコンピューターに合わせ てシステムを調整し、カスタムモ ードに登録します。	オート PC、トラッキング、総ドット数、水平位置、垂直 位置、コンピューター情報、クランプ、画面領域 H、画 面領域 V、リセット、データ消去、メモリー
3	画質モード (了 62~63ページ 画質モードを選択します。	プレゼンテーション、スタンダード、ハイコントラスト、 シネマ、黒(緑)板、カラーボード、ユーザー1〜4
4	画質調整 (テ 64~67ページ 画面の画質をマニュアルで調整し ます。	コントラスト、明るさ、色の濃さ ** 、色合い ** 、色温 度、ホワイトバランス(赤/緑/青)、画質、ガンマ補正、 ノイズリダクション ** 、プログレッシブ ** 、リセット、 メモリー
5	アスペクト (ア 68 ~ 76 ページ) 画面の大きさのモード設定をします。	ノーマル、フル、16:9、ズーム、リアル * 、カスタム、 カスタム調整、デジタルズーム+/- * 、キーストーン、 天吊り、リア投映、リセット
6	サウンド (ア 43 ページ 音量調節や消音の切換えをします。	音量、消音、マイク、マイクゲイン、スタンバイマイク
1	設定(ア 77~99ページ プロジェクターの各種設定を行な います。	言語、メニュー位置、オートセットアップ、バックグラウン ド、オンスクリーン表示、ロゴ、端子設定、パワーマネージ メントモード、ダイレクトパワーオン、スタンバイモード、 プレゼンテーションタイマー、クローズドキャプション、 ランプモード、リモコンコード、セキュリティ、ファン、フ ァン制御、映像遅延制御、フィルターカウンター、総消費電 力削減量、警告履歴、初期設定
8	インフォメーション (ア 48 ページ 投写中の信号状況と設定の状況を 表示します。	入力、水平周波数、垂直周波数、アスペクト、言語、ラン プ状態、ランプカウンター、パワーマネージメントモード、 キーロック、暗証番号ロック、リモコンコード、SERIAL No.、総消費電力削減量

*

『ネットワーク説明書(別冊)』をご覧ください。 コンピューター画面のときのみ表示、または選択可 *

ビデオ画面のときのみ表示、または選択可 **

操基 作本

投写中の入力信号の状況やランプの状態を確認する

「インフォメーション」で、投写中の入力信号の状況とランプの状態を画面上で確認 することができます。

- **1** リモコンまたは操作パネルの [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポ イント] ボタンの上下で [インフォメーション] を選択します。
- **2** サブメニューにインフォメーションの1ページ目が表示されます。さらに[ポイント] ボタン右を押すと2ページ目が表示されます。

リモコン



∠ [INFO.] ボタン

リモコンの [INFO.] ボタンで直接選択、表示 させることができます。

※ [INFO.] ボタンは操作パネルにはありません。



インフォメーション(1ページ目)

※「インフォメーション」を閉じるには

- ・[ポイント]ボタンの上下を押すと他のメニューに移ります。
- ・リモコンの[INFO.]ボタンを押すとメニュー画面ごと消えます。右下に「1/2」が表示されているときは、ボタンを2回押します。(1回のときは2/2ページが表示されます。)

インフォメーションの項目

入力•••••	投写中の信号の種類
水平周波数•••••	(およその目安の数値です)
垂直周波数•••••	(およその目安の数値です)
アスペクト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	選択中の画面サイズ
言語•••••	選択中の言語
ランプ状態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	選択中のランプモード
ランプカウンター・・・・・・・・・・	実使用時間を表示します。
パワーマネージメントモード・・・・・	設定内容が表示されます。
キーロック・・・・・・・・・・・・・・・・・	キーロックの設定状況が表示されます。
暗証番号ロック・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	暗証番号ロックの設定状況が表示されます。
リモコンコード・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	設定されているリモコンコードを表示します。
SERIAL No. •••••••••••••••••••••••••••••••••••	フロジェクターの製造番号を表示します。 削減された電力消費量を表示します。

※ ランプの交換推奨時間に達すると時間を赤色で表示します。 ※ ランプ換算時間などが読み取り不可能なときは「---」で表示します。

🥘 こんなときに便利です

プロジェクターの準備・設置などでうまく投写できないなどのときに、この画面が 簡単に問題解決の手助けになります。

49

操基 作本

入力の選択・設定・調整 入力を切り換える

「入力」メニューで入力を切り換える

- **1** [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「入 力」メニューを選択します。
- 2 [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを 投写したい入力に合わせ、[OK] ボタンを押します。 ※「コンピューター1」は[ポイント] ボタン右を押すと、信号選択メニュー(サブメニュー
- 2) が表示されます。 **3** 信号選択メニューが表示されたら、[ポイント] ボタンの上下で信号を選択し、[OK] ボタンを押します。

入力 メニュー







※ [COMPUTER IN 1/COMPONENT IN] にビデオ機器からのコンポーネ ント信号を接続しているときは、「コンピューター 1」で「Component」 を選択します。



ANALOG PC [COMPUTER IN 1/COMPONENT IN] 端子にコンピューターのアナロ グ信号が接続されているときに選択します。

COMPONENT [COMPUTER IN 1/COMPONENT IN] 端子にコンポーネントビデオ信 号が接続されているときに選択します。

SCART [COMPUTER IN 1/COMPONENT IN] 端子に映像機器の SCART 映像 出力*が SCART-VGA ケーブルで接続されているときに選択します。

★ SCART 21 ピン端子は、主にヨーロッパ地域で販売されているビデオ機器に備えられている ビデオ出力端子で、この端子の ANALOG PC 出力をプロジェクターで見るには、ビデオ機器 の SCART 21 ピン端子とプロジェクターの [COMPUTER IN 1/COMPONENT IN] を専用のケ ーブルで接続します。[COMPUTER IN 1/COMPONENT IN] で再生される RGB SCART 信号は 480i、575iの RGB 信号のみです。コンポジットビデオ信号は再生されません。

コンピューター2

[COMPUTER IN 2/ MONITOR OUT] 端子に、コンピューターのアナログ信号が接続されているときに選択します。(信号選択メニューは表示されません)

※「設定」内の「端子」で「モニター出力」を選択している場合は、「コンピューター 2」はグレ ーで表示され選択できません。



[VIDEO IN] 端子に、ビデオ入力信号が接続されているときに選択します。 (信号選択メニューは表示されません)

※ [COMPUTER IN 1/COMPONENT IN] に、ビデオ機器からのコンポーネント信号を接続しているときは、「コンピューター 1」から「Component」を選択します。 (ア) 前ページ

S-VIDEO

[S 映像入力]端子に、S 映像信号が接続されているときに選択します。 (信号選択メニューは表示されません) 設入 定力

・の 調選 整択

コンピューターシステムの選択

システムモードが自動選択されます

(マルチ スキャン システム)

本機は接続されたコンピューターの信号を判別し、適合するシステムモード (VGA、 SVGA、XGA、SXGA・・・)を自動で選択しますので、ほとんどの場合、特別な操作を せずにコンピューター画面を投写することができます。 (ア 112~114ページ 選択されたシステムモードは、サブメニューの「システム」に表示されます。

🚽 システムに表示されるメッセージ

- Auto ・・・・ 接続されたコンピューターの信号に合ったシステムモードがプ ロジェクターに用意されていない場合、オート PC 機能が働き、 システムに「Auto」の表示が出ます。画像が正しく投写されな いときは、お使いのコンピューターに合わせてマニュアルで調整 し、「カスタムモード*」に登録してください。 (ア 57 ~ 60 ページ
 - _____ ・・・ コンピューターの入力信号がありません。接続を確認してくださ い。 (デ 17、25ページ
- モード 1 ・・・マニュアルで登録された「カスタムモード*」が選択されたとき 表示されます。

システムモードを選択する

- **1** [MENU] ボタンを押してメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「入力」 メニューを選択します。
- **2** [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを「コンピューター 1」 に合わせて [OK] ボタンを押します。
- **3** [ポイント] ボタンの上下でポインタを、サブメニューの下方にある「システム」 に合わせ、[OK] ボタンを押します。システムモードを選択するサブメニュー 2 が表示されます。
- **4** [ポイント] ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて [OK] ボ タンで選んでください。
- **5**[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。
- ※ カスタムモード:お使いのコンピューターに合わせて、お客さまがマニュアルで登録したシ ステムモードです。 (ア 57~60ページ





※上図「モード1」および「モード2」はカスタムモードです。(前ページ参照)

設定・調整・

ビデオシステムの選択

システムモードを選択する

- **1** [MENU] ボタンを押してメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「入力」 メニューを選択します。
- **2** [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを「ビデオ」に合わせ [OK] ボタンを押します。
- **3** [ポイント] ボタンの上下でポインタを、サブメニューの下方にある「システム」 に合わせ、[OK] ボタンを押します。システムモードを選択するサブメニュー 2 が表示されます。
- **4** [ポイント] ボタンの上下でポインタを、いずれかのモードに合わせて [OK] ボ タンで選んでください。
- Ϛ[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。



VIDEO または S-VIDEO 端子入力選択時

Auto (自動)

入力信号のカラーシステムにプロジェクターが自動で対応します。 ※「PAL-N」「PAL-N」は自動選択されません。前ページ「**1**」「**2**」の手順で選択してください。

PAL • SECAM • NTSC • NTSC4.43 • PAL-M • PAL-N

対応できるカラーシステムの一覧です。日本のカラーシステムは NTSC です。入力信号の状態が悪く、「Auto」に設定してもシステムが自動で選択されないとき(色ムラがある、色が出ないときなど)は、「NTSC」を選んでください。

コンポーネント入力選択時



入力信号の走査方式にプロジェクターが自動で対応します。

(コンポーネント映像の走査方式)

正しい映像が再生されないときは、メニューの中から正しい走査方式を選んでくだ さい。 設入 定力

・の 調選

整択



メニューから調整する

オートPC

PC 調整メニュー

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」の4項目を 自動調整することができます。

- **1** [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「PC 調整」メニューを選択します。
- **2** [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを「オート PC」に合わせ、[OK] ボタンを押すと自動調整を実行します。

iூ 入力	ታ- ኑPC	
	トラッキング	16
🤳 PC調整 🔍	総ドット数	1344
■ 画質モード	水平位置	297
	垂直位置	35
🐣 画質調整	コンピューター情報	
ママペクト	クランプ	
■ J X 49 F	画面領域 H	1024
◀)) サウンド	画面領域 V	768
	リセット	
1 設定	データ消去	
(1) インフォメーション	メモリー	
🕙 ネットワーク		
■ 終了 《戻る	◆移動 ▶	🐼 スタート

- ※オートPC機能で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」「垂直位置」のすべてを完全に 調整できないコンピューターもあります。その場合は、マニュアルで調整し、「カスタムモー ド」に登録してください。 デ 57~60ページ
- ※ 自動調整した内容を一度登録しておくと、前述のシステムメニューでそのモードを選択でき ます。登録のしかたについては、「マニュアル PC 調整の手順 3-3、メモリー」の項目をご覧 ください。
- ※ システムメニューで、480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i が選択されているときは、 オート PC 機能ははたらきません。
- ※ご使用のコンピューターまたは、信号の種類によっては、正しく映らないときがあります。

マニュアル PC 調整 (「カスタムモード」を登録する)

本機は、接続されたコンピューターの信号を判別し、適合するモードを自動選択し ますが、コンピューターによっては自動選択できないものもあります。メニューバ ーの「システムボックス」に「Auto」と表示され、画像が正しく投写されないとき は、PC 調整メニューでマニュアル調整し、「カスタムモード」に登録してください。 登録した「カスタムモード」は、システムメニューで選択できます。「カスタムモード」 は 10 個まで登録することができます。

手 順

- **1** [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「PC 調整」メニューを選択します。
- 2 [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを 調整したい項目に合わせ、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと調 整したい項目の詳細メニュー*が現れます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。
 - ※ 詳細メニュー表示で [ポイント] ボタンの上下を押すと、調整したい項目を順送りする ことができます。



各項目の調整(例:トラッキング)

[ポイント] ボタンの左右で調整し、[OK] ボタンで設定。

※ 各項目の詳細については、60ページを参照してください。

設入

定力 ・の

調選 整択

3-1 リセット

- ポインタを「リセット」に合わせ、[OK] ボタンを押すと「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。
- ②「はい」を選択し[OK] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル(リセット) し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し[OK] ボタンを押すとキャンセル(リセット)を中止することができます。

※自動的にサブメニューに戻ります。

3-2 データ消去

- ポインタを「データ消去」に合わせ、[OK] ボタンまたは[ポイント] ボタン 右を押すと、サブメニュー2に各モードの登録内容が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で消去したいモードを選択し、[OK] ボタンを押します。「はい、いいえ」の確認メニューが表示されます。
- ③「はい」を選択し[OK]ボタンを押すと登録が解除され、サブメニュー2に戻ります。

※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [OK] ボタンを押すとサブ メニュー2へ戻ります。消去したいモードを選び直してください。

④ [ポイント] ボタン左を押すとサブメニューに戻ります。



<u>データ消去</u>

3-3(ダモリー

- ポインタを「メモリー」に合わせ、[OK] ボタンまたは[ポイント] ボタン右 を押すと、サブメニュー2に各モードの登録内容が表示されます。
- ② 「ポイント」ボタンの上下で登録したいモードを選択し「ポイント」ボタン右、 または[OK]ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示 されます。
- ③「はい」を選択し[OK]ボタンを押すと登録が完了し、サブメニュー2に戻ります。
 ※モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し[OK]ボタンを押すとサブ

メニュー2へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

④ [ポイント] ボタン左を押すとサブメニューに戻ります。

※ 調整した項目は「メモリー」で登録しないと保存されません。

メモリー オー Ի₽Ω :🕘 入力 トラッキング 16 *是* PC調整 ◀ 1344 総 ドット数 水平位置 297 🏢 画質モード 垂直位置 🙏 画質調整 コンピューター情報 🔲 アスペクト 画面領域 H 1024 **∢**別 サウンド 画面領域 V 768 [OK] ボタンまたは 「ポ 💷 設定 データ消去 イント] ボタン右 インフォメーション 🔕 ネットワーク (目)終了 ◆移動 ▶次へ ▲屋る OK /r ^

:0	入力		メモリー	どこに記憶	しますか?
-			モード1	デー	タなし
Ð	PC調整	∢ <	モード 2	総ドット数	134
	画質モード		モード3	水平位置	2:
	14		モード 4	垂直位置	
•	画質調整		モード 5	画面領域 H	10:
	マフペカト		モード 6	画面領域 V	70
) (1)		モード 7		
()	サウンド		モード 8		
_			モード 9		
	設定		モード 10		
i	インフォメーション				
٩	ネットワーク				
	●終了 《戻	ล	◆移動	▶	☞ 選択

※既に登録されているモードには「データあり」と表示されます。

設入 定力 ・の

調選

整択

トラッキング)

トラッキング(同期)がずれて画面のちらつきがあるときに調整します。(0から31まで)

※ コンピューターによっては、画面のちらつきが完全に消えない場合があります。

総ドット数

1 水平期間の総ドット数を調整します。

水平位置

画面の水平方向の位置を調整します。

垂直位置

画面の垂直方向の位置を調整します。

コンピューター情報

現在接続しているコンピューターの水平周波数と垂直周波数の値を表示します。

クランプ

クランプ位置を調整します。投写している映像に暗い線が出ているときに使います。

画面領域 H

水平解像度を調整します。 [ポイント] ボタンの左右でコンピュータの水平解像度に合わせて調整してください。

画面領域 V

垂直解像度を調整します。 [ポイント]ボタンの左右でコンピューターの垂直解像度に合わせて調整してください。

※ システムメニューで 480p、575p、720p、480i、575i、1035i、1080i のシステムモードが選 択されているときは、「画面領域 H/V」の調整はできません。

入力の選択・設定・調整

メモ

設定・調整・

画質の調整

画質モードを選択する

- **1** [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「画 質モード」メニューを選択します。
- **2** [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、お好みのモードに合わせ、[OK] ボタンを押します。

画質モードメニュー

	入力 PC調整 画質モード 画質調整 アスペクト	•	 ブレゼンテーショ スタンダード ハイコントラスト シネマ 黒(緑)板 カラーボード ユーザー1 ユーザー2 	יע		赤
●)) □ □ ● ● ● ●	サウンド 設定 インフォメーション ネットワーク		 コーサー3 コーザー4 	• Yn 4		
		\	● [OK] オ ● イント]	ドタンま イ ボタンネ	していていていていていていた。 たは [ポ ち	
:	入力		• プレゼンテーショ	コン		
J	PC調整		○ スタンタード ○ ハイコントラスト			
	画質モード	•	 ○ シネマ ○ 里(経)垢 			
•	画質調整		○ <u>黒(ଲ</u> ,700) ○ カラーボード			赤
	アスペクト		○ ユーザー 1 ○ ユーザー 2			
◀))	サウンド		○ ユーザー 3			
-	設定		<u> </u>			
(\mathbf{i})						
	インフォメーション					



「スタンダード」よりもメリハリの効いた画質を再現することができます。

スタンダード

「画質調整」メニューの項目が、工場出荷時設定の標準値になります。

、ハイコントラスト

グラフィックを自然な階調で再現します。

シネマ

映画を見るのに適した、階調表現を重視した画質です。



教室などの緑色をした黒板に投写するとき、白いスクリーンに投写したときに近い 色合いを再現します。



スクリーンの準備ができないときなど、色のついた壁などに投写するとき、白いス クリーンに投写したときに近い色合いを再現します。

操作手順

- [ポイント] ボタン右を押すと色選択画面(赤/青/黄/緑)が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で投写面の色に近い項目を選択し、[OK] ボタン を押します。
- ③ [ポイント] ボタン左でサブメニューに戻ります。

ユーザー1~4 ※コンピューター、ビデオのそれぞれで登録できます。

画質調整メニューでマニュアル調整した画質を呼び出します。

設入 定力 ・の

調選 整択

マニュアルで画質調整を行う



- **1** [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「画 質調整」メニューを選択します。
- 2 [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニュー内に入り、ポインタを 調整したい項目に合わせ、[OK] ボタンを押すと調整したい項目の詳細メニュー
 *が表示されます。調整は画面を見ながら [ポイント] ボタンの左右で行ないます。
 - ※ 詳細メニュー表示で [ポイント] ボタンの上下を押すと、調整したい項目を順送りする ことができます。

コントラスト :🕣 入力 明るさ 🖉 PC調整 色の濃さ 32 色合い 32 🎆 画質モード 高 色温度 😞 画質調整 ◀ 32 緑 32 📃 アスペクト 青 ↓) サウンド 画質 8 ガンマ補正 8 📟 設定 ノイズリダクション プログレッシブ オフ インフォメーション リセット 🄕 ネットワーク メモリー ■終了 ∢戻る ◆移動 ∞次へ ١. 「OK】ボタン *詳細メニュー コントラスト 0 回 終了 ◆スクロール ◆調整 ◎ 戻る

各項目の調整(例:コントラスト)

[ポイント] ボタンの左右で調整し、[OK] ボタンで設定。

※ 各項目の詳細については、66ページを参照してください。

3-1 リセット

- ポインタを「リセット」に合わせ、[OK] ボタンを押すと、「はい、いいえ」 の確認メニューが表示されます。
- ②「はい」を選択し[OK] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル(リセット)し、調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し[OK] ボタンを押すとキャンセル(リセット)を中止することができます。

※ 自動的にサブメニューに戻ります。

- 3-2 メモリー
 - ① ポインタを「メモリー」に合わせ、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右 を押すと、サブメニュー2に「ユーザー1~4」の登録内容が表示されます。
 - ② [ポイント] ボタンの上下で登録したいモードを選択し[ポイント] ボタン右、 または [OK] ボタンを押します。「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示 されます。
 - ③「はい」を選択し[OK] ボタンを押すと登録が完了し、サブメニュー2に戻り ます。
 - ※ モードの選択をやり直したいときは、「いいえ」を選択し [OK] ボタンを押すと「ユー ザーイメージ登録画面」へ戻ります。登録したいモードを選び直してください。

設入

定力

• の

調選 整択



🤇 ノイズリダクション 🔵

古いビデオやノイズの多い映像を見るとき、ザラつき(ノイズ)が軽減されます。

- L1 ・・・ ノイズリダクション:弱
- L2 ・・・ ノイズリダクション:強
- ※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p の信号を選択しているとき、または コンピューター信号入力時は「ノイズリダクション」は選択できません。

🥘 ノイズリダクションの使い分け

ノイズリダクションを使用すると、動きの早い映像をみるとき、残像が発生するこ とがあります。

- 動きの早い映像(アクション映画など)のときは「L1」(弱)に設定する。
- 動きの遅い映像のときは「L2」(強)に設定する。

プログレッシブ

- **オフ**・・・・動きの多い映像でチラツキや横線が目立つときは「オフ」に設定してく ださい。
- L1 ・・・ プログレッシブスキャンを「ON」にします。 (動画のとき)
- **L2** ・・・ プログレッシブ スキャンを「ON」にします。(静止画のとき)
- [フィルム]・・「3-2 プルダウン / 2-2 プルダウン」された映画を投写するときに、映画の質感を損なわずに再生できます。
- ※ システムメニューで 1080i、1035i、480p、575p、720p の信号を選択しているとき、または コンピューター信号入力時は「プログレッシブ」は選択できません。

設入

定力

・の 調選

整択

オフ・・・・ノイズのない映像を見るときは「オフ」に設定してください。

<u>画面サイズの調整</u>

お好みにより、画像サイズを変えることができます。

- **1** [MENU] ボタンを押してメインメニューを出し、[ポイント] ボタンの上下で「ア スペクト」メニューを選択します。
- **2** [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブメニューに入り、スクリーンモー ドを選択し、[OK] ボタンを押します。

※ リモコンの [ASPECT] ボタンで直接選択、表示させることができます。 🝞 39 ページ

· · · · · · · · · · · ·		
 ☆ 入力 ジ PC調整 画質モード 画質調整 ブスペクト グンド ジ 設定 インフォメーション ネットワーク 	 ノーマル フル 16:9 ズーム リアル カスタム カスタム デジタルズーム + デジタルズーム - キーストーン 天吊り リア投映 リセット 	オフ オフ
■終了	 ◆⁸動 ▶次へ OK] ボタンまたは [ポ 	

:🕣 入力	● ノーマル
.	○ フル
→ PC調整	0 16:9
■■ 画督モード	○ ズーム
	○ リアル
🚼 画質調整	○ カスタム
	カスタム調整
	デジタルズーム +
▲)) サウンド	デジタルズーム -
	キーストーン
- 設定	天吊り オフ
インフォメーション	リア投映 オフ
	リセット
冬 ネットワーク	
■ 終了 《戻る	

[ポイント] ボタンの上下 で選択し、[OK] ボタンで 設定。

画面サイズの選択(コンピューター入力時)



入力信号のアスペクト比を保ったまま、表示できる最大の大きさで表示します。

フル

フルスクリーンサイズで投写します。 ※入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

アスペクト比、横16:縦9のワイド画面で投写します。 ※入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。



入力信号のアスペクト比を保ったまま、いっぱいに投写します。 ※入力信号が設定より横に長いときは左右が、縦に長いときは上下の映像が切れます。 ※入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。



*1024 x 768 ドット

画像をオリジナルサイズで投写します。 ※入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

- 画像サイズがパネル解像度*よりも小さいときは、画面の中央に投写し、画面左 上に「リアル」の表示が現れます。
- ② 画像サイズがパネル解像度*と同じときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れますが、その後「ノーマル」で投写されます。
- ③ 画像サイズがパネル解像度*よりも大きいときは、画面の左上に「リアル」の表示が現れ、画面の上下左右に△が表示されます。[ポイント]ボタンの上下左右で画像を移動させます。

パネル解像度*より小さいとき



パネル解像度*より大きいとき



※ 補正された方向の矢印は青で表示されます。 ※ 最大の補正位置で矢印の表示が消えます。 設入 定力

・の 調選

整択

カスタム

「カスタム調整」で調整したモードで投写します。 ※入力信号がないとき「カスタム」は選択できますが「ノーマル」で表示されます。

カスタム調整

水平と垂直の、スケールおよび位置を調整します。(操作手順は73、74ページ)

デジタルズーム+

「デジタルズーム+」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.zoom +」表示が現われます。

[OK] ボタンを押すごとに画像が拡大します。

[ポイント] ボタンの上下左右で画像を移動させます。

画像の移動機能は、画像サイズがパネル解像度*よりも大きいときのみ働きます。

デジタルズームー

「デジタルズームー」を選択するとメニューバーが画面から消え、「D.zoom ー」表示が現われます。

[OK] ボタンを押すごとに画像が縮小します。

「ポイント」ボタンの上下左右で画像を移動させます。

画像の移動機能は、パネル解像度*よりも大きいときのみ働きます。

🌒 🗶 🔵

※入力信号がないときは「デジタルズーム+/-」はグレーで表示され選択できません。

- ※「リアル」を選択しているとき、「デジタルズーム +/-」は選択することができません。
- ※「デジタルズーム + / -」から抜けるときは [D.ZOOM、OK、ポイント] 以外のボタンを押 します。
- ※「カスタム」を選択しているときは「デジタルズームー」は「ノーマル」の画面の大きさ以下への縮小ができません。
- ※ PC 調整メニューでマニュアル調整した「カスタムモード」をコンピューターのシステムモ ードに使用しているときは、「デジタルズーム ー」モードのときの画像の移動機能は正しく 働かないことがあります。
- ※システムモード(C) 52、53ページ)で「VGA、SVGA、SXGA、WXGA、UXGA」が選択されていて、上部への「キーストーン」調整が最大値のとき、「デジタルズームー」が正しく働かないときがあります。



画面の台形ひずみを補正する機能です。(操作手順は75ページ)

、天吊り

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して投写します。天井から逆 さに吊り下げて設置するときに設定します。

リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して投写します。 透過型スクリーンの後ろから投写するときに設定します。



設入 定力 • の 整択

〔 リセット 〕

「アスペクト」メニュー内で設定したすべての内容が工場出荷時に戻ります。 (操作手順は 76ページ)

画面サイズの選択(ビデオ系入力時)

(ノーマル)

入力信号のアスペクト比を保ったまま、表示できる最大の大きさで表示します。

(フル)

フルスクリーンサイズで投写します。 ※入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

16:9

アスペクト比、横16:縦9のワイド画面で投写します。スクイーズ信号(横16:縦 9の映像を、横4:縦3に横方向に圧縮した信号)が適正なサイズで見ることができ る設定です。

※入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

(ズーム)

入力信号のアスペクト比を保ったまま、いっぱいに投写します。 ※入力信号が設定より横に長いときは左右が、縦に長いときは上下の映像が切れます。 ※入力信号がないときはグレーで表示され選択できません。

(カスタム)

「カスタム調整」で調整したモードで投写します。 ※入力信号がないとき「カスタム」は選択できますが「ノーマル」で表示されます。

(カスタム調整

水平と垂直の、スケールおよび位置を調整します。(操作手順は73、74ページ)



画面の台形ひずみを補正する機能です。(操作手順は75ページ)

(天吊り)

この機能を「オン」にすると、画像の上下左右を反転して投写します。天井から逆 さに吊り下げて設置するときに設定します。

「リア投映

この機能を「オン」にすると、画像の左右を反転して投写します。 透過型スクリーンの後ろから投写するときに設定します。



リセット

「アスペクト」メニュー内で設定したすべての内容が工場出荷時に戻ります。 (操作手順は 76ページ)
操作手順(カスタム調整・キーストーン・スクリーンアスペクト・リセット)

「カスタム調整」

- 1 [ポイント] ボタン右を押します。
- ※[OK] ボタンを押すとスクリーンモードの「カスタム」を選択することになります。
- 2 サブメニュー2の調整画面が表示されます。
- **3** [ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと詳細メニューが表示されます。



※「H&V」は[OK] ボタン押して、サブメニュー2上で調整します。

- ※ 詳細メニュー表示で [ポイント] ボタンの上下を押すと、「H&V、共通、リセット」以外 のメニューが順送りで表示されます。
- **4** [ポイント] ボタンの左右で調整し、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタンの左 でサブメニューに戻ります。

設入

定力

· 0

調選

整択

※ 無信号時はグレーで表示され選択できません。

(水平スケール)

水平のスケールを調整します。

[OK] ボタンを押して設定画面に入り、[ポイント] ボタンの左右で調整します。[OK] ボタンでサブメニューに戻ります。

重直スケール

垂直のスケールを調整します。

[OK] ボタンを押して設定画面に入り、[ポイント] ボタンの左右で調整します。[OK] ボタンでサブメニューに戻ります。

(H&V)

垂直および水平のスケールを調整するときに、垂直と水平のスケールを連動さ せ、映像のアスペクトを保持したままスケール調整をするときに「オン」を選 択します。

[OK] ボタンを押すと、△▽がサブメニュー2上に表示されます。[ポイント] ボタン の上下で「オン・オフ」を選択します。[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン左で サブメニュー2に戻ります。

※「水平スケール」で調整し、数値の変化に合わせて「垂直スケール」の数値も変化します。

水平位置

水平位置を調整します。

[OK] ボタンを押して設定画面に入り、[ポイント] ボタンの左右で調整します。[OK] ボタンでサブメニューに戻ります。

垂直位置

垂直位置を調整します。

[OK] ボタンを押して設定画面に入り、[ポイント] ボタンの左右で調整します。[OK] ボタンでサブメニューに戻ります。

共通

調整した内容を全ての入力に反映します。**

[OK] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」 を選択し [OK] ボタンを押すと登録されます。 (自動的にサブメニューに戻ります。)

「リセット)

調整した内容を全てリセットします。

[OK] ボタンを押すと「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。「はい」 を選択し [OK] ボタンを押すとリセットされます。 (自動的にサブメニューに戻ります。)

**たとえば、コンピューター入力で「水平スケール」を「0」から「2」に変えて登録したとき、 ビデオ入力で「カスタム」を表示させたときに「水平スケール」に「2」が表示されている、 ということです。

入力の選択・設定・調整



ポインタを「キーストーン」に合わせて[OK]または[ポイント]ボタン右を押します。
 サブメニュー2の調整画面が表示されます。



- **3** [ポイント] ボタンの上下で項目を選択し、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと詳細メニューが表示されます。
- **4** [ポイント] ボタンの上下左右で調整し、[OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン 左でサブメニューに戻ります。

(キーストーン)

画面上下の台形ひずみを補正します。

「キーストーン」を選択して [OK] ボタンを押すと、画 面中央に「キーストーン」が表示されます。表示が現れ ている間に [ポイント] ボタン上下で台形ひずみを補正 します。[ポイント] ボタン上で上側が縮み、[ポイント] ボタン下で下側が縮みます。補正した方向の三角が赤色 に変わり、補正の限界に達すると三角が消えます。



- キーストーン調整値の保持について設定します。 「メモリー」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表 示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を変更 します。
- メモリー・・・ 電源コードを抜いても調整値を保持します。
- **リセット**・・・ 電源コードを抜くと調整が解除されます。

キーストーン 🔶

- ※ 表示は約4秒間出ます。
- ※「オンスクリーン表示」が「オ フ」(「〒80ページ)のとき は表示されません。
- ※ 補正された方向の矢印は青 く表示され、補正の限界に 達すると矢印の表示が消え ます。
- ※ 表示が現れているあいだに、 リモコンの [KEYSTONE] ボタンを押すと、補正前の 状態に戻ります。

<ご注意>

※「天吊り」(CF 71、72ペー ジ)を「オン」に設定すると、 キーストーン調整が解除さ れます。 (リセット)

- 1 ポインタを「リセット」に合わせて [OK] ボタンを押します。
- 2「はい、いいえ」の登録確認メニューが表示されます。
- **3**「はい」を選択し[OK] ボタンを押すと、調整した内容をキャンセル(リセット)し、 調整前の値を表示します。「いいえ」を選択し[OK] ボタンを押すとキャンセル(リ セット)を中止することができます。
- ※自動的にサブメニューに戻ります。
- ※ リモコンの [ASPECT] ボタンを 5 秒以上押しても、リセットされます。 🝞 39 ページ

各種機能の設定

「設定」メニューで各種機能の設定をする



- [MENU] ボタンを押してメインメニューを表示し、
 [ポイント] ボタン上下で「設定」メニューを選択します。
- 2 [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右でサブ メニューに入ります。[ポイント] ボタン上下で項 目を選択して [OK] ボタンを押すと、さらにサブ メニュー2が表示され、サブメニュー2から選択 肢を選んで [OK] ボタンを押して決定します。 また、項目を選択して [OK] ボタンを押すと、項 目に△▽が表示される場合があります。この場合 には、[ポイント] ボタン上下で項目の設定を切り 換えることができます。
- **3**項目の設定が完了したら [ポイント] ボタン左で 前の画面に戻ります。また、[MENU] ボタンを押 すとメニューを終了します。
- ※操作できるボタンと用法が、メニュー下のガイドに表示されます。ガイドについては46ページを参照してください。



 言語
 画面表示の言語を切り換えます。英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、オランダ語、スウェーデン語、フィンランド語、ポーランド語、ハンガリー語、ルーマニア語、チェコ語、ロシア語、トルコ語、カザフスタン語、ベトナム語、中国語、韓国語、日本語、タイ語の計 21 か国語から 選択できます。

- ①「言語」を選択して[OK] ボタンを押すと、サブメ ニュー2(言語選択メニュー)が表示されます。
- ② [ポイント] ボタン上下で項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。

メニュー表示位置

オンスクリーンメニューを表示する位置を変更します。 [OK] ボタンを押すたびに、右図の番号順にメ ニュー画面が移動します。













[ポイント] ボタン上下で選択 し、[OK] ボタンで決定。



各

種

ற

オートセットアップ

オートセットアップ機能の動作内容の設定を行ないます。

- 「オートセットアップ」を選択して[OK] ボタンを押 すと、サブメニュー2が表示されます。
- (2) [ポイント] ボタン上下で設定する項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。

(オートインプット)

信号の有無を検出し、入力が有る信号を自動的に投写 オー」 する機能です。「オートインプット」の動作を設定し ます。

「オートインプット」を選択して[OK] ボタンを押すと △▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設 定を切り換えます。

- **オフ**・・・・「オートインプット」は動作しません。
- **オン1** ・・・ 操作パネルまたはリモコンの [AUTO SET] ボタンを押したときに動作します。
- オン2・・・・以下のときに動作します。
 - 操作パネルまたはリモコンの [● POWER] ボタンで電源を入れたとき。
 - ② 操作パネルまたはリモコンの [AUTO SET] ボタンを押したとき。
 ③ 37 ページ
 - 投写している信号が入力されなくなったとき。
- ※「オン2・①」設定時、「暗証番号ロック」が「オン」の 場合には、暗証番号認証後、動作します。
- ※「オン2・③」設定時、無信号になったときにオンスクリー ンメニューが表示されていた場合には「オートインプッ ト」は動作しません。その後メニューを消しても動作し ません。
- ※「FREEZE」、[BLANK]の動作中に無信号になったときは、 それぞれが解除されてから信号の検出を開始します。
- ※「オートインプット」の動作中に、操作パネルの〔 POWER]、[MENU]、[INPUT]、[AUTO SET] ボタン、 リモコンの〔 [COMPUTER 1]、[COMPUTER 2]、[VIDEO]、[S-VIDEO]、 [COMPONENT] ボタンを押すと、検出動作を停止します。
- ※ ANALOG PC 入力は、セパレートシンクのみ「オートイ ンプット」に対応しています。
- ※ 変換ケーブルで接続している場合には、入力信号が正し く検出されないことがあります。

<u>オートインプット</u>



(オート PC)

調整頻度の高い「トラッキング」「総ドット数」「水 平位置」「垂直位置」を自動で調整する機能です。 オート PC の動作を設定します。

「オート PC」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が 表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切 り換えます。

オフ・・・ オート PC を行ないません。

オン・・・オート PC を行ないます。

- ※ 工場出荷時は「オン」に設定されています。
- ※ オート PC で「トラッキング」「総ドット数」「水平位置」 「垂直位置」のすべてを完全に調整できないコンピュー ターもあります。その場合は手動で調整して「カスタ ムモード」に登録してください。?? 57~60ページ

オートキーストーン

「オートキーストーン」を選択して[OK] ボタンを押す と△▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で 設定を切り換えます。

- オフ・・・動作設定を行ないません。
- オート・・・ プロジェクターを傾けると、いつも「オート・トキーストーン」が自動的に補正を行うように設定します。
- **手動** ・・・ 本体の「AUTO SET」ボタンを押したと きに「オートキーストーン」が働くよ うに設定します。

<u>オート PC</u>



<u>オートキーストーン</u>



- ※工場出荷時は「自動」に設定されています。
- ※ 電源を入れたときのカウントダウン中は動作しません。カウントダウン終了後に動作を開始します。
- ※「天吊り」機能が「オン」のときは選択できません。 371、72ページ
- ※ 調整中に他のボタンが押されると中止します。このとき、押したボタンの機能は動作しま せん。
- ※ 設置の状況によっては台形ひずみを完全に補正できないこともあります。そのような場合 は手動で補正を行なってください。

🤍 同時に3つの設定を「オフ」にはできません。

たとえば、「オートインプット」と「オートキーストーン」を「オフ」にしたときは、「オート PC」は選択できなくなり、自動的に「オン」に設定されます。

バックグラウンド

画像の再生前や中断時といった、信号がないときの背 景画面(青 / ユーザー / 黒)を選択します。

「バックグラウンド」を選択して [OK] ボタンを押すと△ ▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を 切り換えます。

- ※「ユーザー」はキャプチャー機能(了 82 ページ)で取り 込んだ画像を表示します。
- ※ キャプチャー画像が無いときは、「ユーザー」を選択でき ません。

オンスクリーン表示

画面表示を出す・出さないを選択します。

「オンスクリーン表示」を選択して[OK] ボタンを押すと △▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定 を切り換えます。

- **オフ** ・・・ 下記以外の画面表示は行ないません。
 - ・メニュー表示 (ア45ページ)
 - ・電源を切るときの、
 「もう1度押すと電源が切れます」の表示
 - P-TIMER のカウント表示 💽 42 ページ
 - ・オート PC の「しばらくお待ち下さい」の 表示
 - パワーマネージメントモード時のカウント 表示
 - ・ 画面サイズが大きいときに表示される「△」

カウントダウンオフ

- ・・・ ランプ点灯後 15 秒のカウントダウンを表示せず、すぐに投写します。
 投写画面が少し暗くても早く映像を映したいときに選択します。
- **オン** ・・・ すべての画面表示を行ないます。 ある程度投写画面が明るくなってから映像を 映したいときに選択します。

<u>オンスクリーン表示</u>



各種機能の設定

ロゴの選択、画面のキャプチャー、ロゴへの暗証番号 の設定をします。

- [OK]ボタンを押すと、サブメニュー2が表示されます。
- (記イント) ボタンの上下で項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。
- ※「ロゴ暗証番号ロック」が「オン」のときは、「ロゴ選択」 と「キャプチャー」は設定できません。

ロゴ選択

電源を入れたときのロゴ表示を選択できます。 「ロゴ選択」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表 示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り 換えます。

- **オフ**・・・・ ロゴを画面に表示しません。
- **ユーザー ・・・** キャプチャー機能で取り込んだ画像 を表示します。
- 初期設定・・・工場出荷時の設定を表示します。
- ※ キャプチャー機能(次ページ参照)で取り込んだ画像が ないときは「ユーザー」は選択できません。

ロゴ選択



キャプチャー)

投写している画面を静止画像として取り込むこと ができます。取り込んだ画像は、「ロゴ選択」で スタートアップロゴに、あるいは「バックグラウ ンド」で背景画面に設定できます。

手 順

 [ポイント] ボタンの上下でポインタを「キャプ チャー」に合わせ、[OK] ボタンを押すと、「OK?」 の確認画面が表示されます。

はい・・・・ 画像の取り込みを実行します。 いいえ・・・ キャプチャーを取り消します。

2 「はい」を選択して [OK] ボタンを押すと取り込 みを始めます。取り込み中は取り込みの進行を示 すバーが表示されます。取り込みを途中でやめる 場合には「戻る?」の「はい」を選択して [OK] ボタンを押します。

※ ご注意

「戻る?」で「はい」を選択すると、すでに「ユーザー」 に保存していた画像も削除されます。

- ※「ユーザー」に保存できるのは1画面のみです。再度キャ プチャーを行うとデータが上書きされます。
- ※ 無信号時には、「キャプチャー」は動作しません。
- ※ 適切な画面を取り込むために、「画質モード」は「標準」 を選択しておいてください。
- ※ 画像を取り込むときは「キーストーン」と「カスタム」 の調整が一時的に解除されます。
- ※ キャプチャー中は一時的に消音になります。
- ※ キャプチャー機能が使えるのは以下の信号のときだけです。 コンピューター・・・パネルサイズ(解像度 1024 × 768 ドット)以下(ただし、「画 面領域 H」を 1025 以上、「画面 領域 V」を 769 以上に設定する と不可)
 - ビデオ・・・コンポ ジット, S ビ デ オ , 480p, 575p, 720p, 480i, 575i

<u>キャプチャー</u>





ロゴ暗証番号ロック

「ロゴ」の設定・変更を、暗証番号を持つ管理者以 外できなくします。以下のモードを選択できます。

- オフ ・・・ 暗証番号なしで「ロゴ選択」と「キャプ チャー」の設定・変更ができます。
- ••• 暗証番号を入力しないと、「ロゴ選択」 オン と「キャプチャー」の設定・変更はでき ません。

手 順

- 1「ロゴ暗証番号ロック」を選択し、[OK] ボタン を押します。暗証番号を入力する画面が表示さ れます。
 - ※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番号 の入力画面が表示されます。
- 7 現在設定されている暗証番号を入力します。 ※下記の「暗証番号の入力方法」を参照してください。
- 3 暗証番号が承認されるとサブメニュー2に戻ります。
- 4 [ポイント] ボタンの上下で「オン」「オフ」を 切り換えます。

暗証番号の入力方法

- 1 「ポイント」ボタンの上下で0~9の数字を選択し、 [ポイント] ボタン右でポインタを2けた日に移動 します。(1けた日の表示が「*」に変わります) こ の操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
- 2 4けた全ての数字を入力したらポインタを「ポ イント」ボタン右で「セット」に移動します。
- **3**[OK] ボタンを押すと「はい」、「いいえ」の表 示が現れます。
- 4 [ポイント] ボタンの上下で「はい」を選択して [OK] ボタンを押します。
- ※工場出荷時のロゴ暗証番号の数字は、「4321」です。
- ※ 数字の入力をやり直したいときは、「ポイント」 ボタン 左右でやり直したいけたを選択し、「ポイント」 ボタン 上下で数字を選び直します。
- ※「キャンセル」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押 すと、現在の作業を中止してサブメニュー2に戻ります。
- ※「ロゴ暗証番号」と入力した数字(見た目は「*」)が赤 く表示された場合には、入力エラーが発生しています。

ロゴ暗証番号ロック



ロゴ暗証番号ロックの オン/オフを切り換える

(3) 選邦

各

 \mathcal{O}

設種

ロゴ暗証番号変更

ロゴの暗証番号を変更します。

手 順

- Ⅰ「ロゴ暗証番号変更」を選択し、[OK] ボタンを 押します。暗証番号を入力する画面が表示され ます。
- 現在設定されている暗証番号を入力します。
 ※前ページの「暗証番号の入力方法」を参照してくだ さい。
- **3** 暗証番号が承認されると「新口ゴ暗証番号」の 画面が表示されます。
- 4「新ロゴ暗証番号」に、変更後の新しい暗証番号 を入力します。
 - ※ このときは暗証番号の承認時と異なり、入力した数 字が見えます。変更後の数字をはっきり確認して いただけるように数字を見せています。
- 5 新しい暗証番号を入力したらポインタを [ポイ ント] ボタン右で「セット」に移動し、[OK] ボタンを押して決定します。
- 6「OK?」の確認メニューが表示されますので、「ポイント」ボタンの上下でします。新しい暗証番号が登録されます。

🤍 メモ

この機能の操作をやめるときは [ポイント] ボタン の左右で「キャンセル」を選択し、[OK] ボタンを 押してサブメニュー2に戻ります。

※ もし、暗証番号を忘れたときは暗証番号を工場出荷状態 に戻してください。(3 99 ページ)

<u>ロゴ暗証番号変更</u>



「はい」で新しい暗証番号の 登録完了

各種機能の設定



「コンピューター 2」の端子を、D-sub 入力またはモニター出力のいずれで使用するか選択します。

「端子設定」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表 示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換 えます。

※INPUTで「コンピューター 2」を選択しているときは設定 を変更できません。設定するには INPUTは「コンピュータ ー 1」、「ビデオ」、もしくは「S-VIDEO」を選択してください。

「パワーマネージメントモード 」

パワーマネージメントモード機能の動作設定を行ないます。

- 「パワーマネージメントモード」を選択して[OK] ボ タンまたは[ポイント]ボタン右を押すと、サブメニュー 2が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下で設定する項目を選択し、
 [OK] ボタンで決定します。
- 待機 ・・・ 設定された時間が経つとランプが消灯し、 ランプ冷却動作に入ります。ランプの冷 却が完了すると [POWER] インジケータ が緑の点滅を始めます。このときに信号が 入力されたりプロジェクターが操作される と、ランプが点灯して画像が投写されます。
- ・・・・ 設定された時間が経つとランプが消灯し終了 て電源が切れます。
- **オフ** ・・・ パワーマネージメントモード機能を解除 します。

🥘 タイマーの設定

1~30分の範囲で設定できます。

「タイマー」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示さ れますので、[ポイント] ボタン上下で数値を変更します。

- ※工場出荷時は、動作が「待機」、タイマーが「5分」に設定 されています。
- ※「FREEZE」(() 40 ページ)および「BLANK」(() 41 ページ) が働いているときは、パワーマネージメントモードは動作 しません。
- ※ パワーマネージメントモードが働くと、「P-TIMER」(742 ページ) はリセットされます。

- ※入出力兼用端子である「コン ピューター 2」は、EDIDをサ ポートしておりません。した がって、ご使用のコンピュー ターによっては、端子接続後 に適切な解像度に合わせるこ とが必要となる場合がありま す。解像度調整については、 ご使用のコンピューターの説 明書を参照ください。
- * EDID (Extended display identification data): 接続先の モニターの機種名や設定値 をコンピューターに伝える ディスプレイ固有の ID。









<u>タイマーの設定</u>



各

の

」 設^一種

ダイレクトパワーオン

AC 電源コードの接続と同時にプロジェクターの電源が 入るように設定します。

「ダイレクトパワーオン」を選択して [OK] ボタンを押すと、 △▽が表示されますので [ポイント] ボタン上下で設定を 切り換えます。

- オフ・・・・通常の電源の入り・切りを行ないます。
 AC 電源コードを接続しても、リモコンまたは操作パネルの [O POWER] ボタンを押さなければプロジェクターの電源は入りません。
- **オン** ・・・ AC 電源コードを接続すると同時にプロ ジェクターの電源が入ります。

※工場出荷時は「オフ」に設定されています。

スタンバイモード

待機中の消費電力の設定をする機能です。通常は「エコ」 で使用してください。

「スタンバイモード」を選択して [OK] ボタンを押すと△ ▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切 り換えます。

エコ・・・ 待機中の消費電力を抑えることができます。

※スタンバイ時に、ネットワークからプロジェ クターの電源を入れられません。電源オン後 は、ネットワークから制御可能になります。

ネットワーク

*** 待機中の消費電力が「エコ」よりも大き くなります。

> ※ スタンバイ時に、ネットワークからプロジェ クターの電源を入れられます。

※エコ設定時の制限事項

「エコ」設定時は、以下の機能が制限されます。

- ・シリアルコマンド制御
- ・ネットワーク機能
- ・モニター出力
- ・マイク音声

<u>ダイレクトパワーオン</u>



スタンバイモード



P-timer

P-timer の起動・終了を行ないます。また、タイマー に関する設定を行ないます。

- [OK]ボタンを押すと、サブメニュー2が表示されます。
- ② [ポイント] ボタン上下で項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。

(カウントアップ)

経過時間を 000 分 00 秒からカウントアップします。 000 分 00 秒から最長 180 分 00 秒まで経過時間を表示します。

(カウントダウン)

経過時間を設定した時間からカウントダウンしま す。時間は「タイマー」で設定します。

※ カウントアップ・カウントダウン実行中に、モードまたはタイマーが変更された場合は、実行中のカウントアップ・カウントダウンはリセットされ、即座に変更が反映されます。

P-timer





「カウントダウン」の時間を設定します。1~180 分の間の1分単位で設定できます。

- [OK] ボタンを押すと、△▽がサブメニューに 表示されますので、[ポイント] ボタン上下で数 字を変更します。
- ※工場出荷時は10分に設定されています。
- ※「カウントアップ」選択時はグレーで表示され設定で きません。

<u>タイマーの設定</u>



(スタート)

[OK] ボタンを押すと、メニューが消えてタイマー 時計が表示され、カウントアップまたはカウントダ ウンが実行されます。

(ストップ)

プレゼンテーションタイマー実行中にメニュー画面 を表示したときに「スタート」から切り換わって表 示されます。プレゼンテーションタイマーの時間を 一時停止することができます。

- [ポイント] ボタンの上下で選択し、[OK] ボタンで 決定します。
- ② 停止中のタイマー時計を約3秒間表示した後、自動的 にメニュー画面に戻ります。「ストップ」は「再スター ト」に切り換わります。

(再スタート)

「ストップ」で止めたプレゼンテーションタイマー を再開します。

- [ポイント] ボタンの上下で選択し、[OK] ボタンで 決定します。
- ② タイマーが再開され、タイマー時計が再度表示されます。なお、「再スタート」は「ストップ」に切り換わります。

(リセット)

実行中のカウントをリセットします。

- [ポイント] ボタン上下で選択し、[OK] ボタンで決 定します。
- ② カウントしていた時間がリセットされます。カウント アップは「000:00」に、カウントダウンはタイマー設 定時間に戻ります。なお、「ストップ」および「再ス タート」は、「スタート」に切り換わります。

(終了))

実行中のプレゼンテーションタイマーを終了します。

- [ポイント] ボタン上下で選択し、[OK] ボタンで決 定します。
- ② 実行中のプレゼンテーションタイマーが終了し、サブ メニュー画面に戻ります。

各種機能の設定

クローズドキャプション

クローズドキャプション(字幕)の表示の選択と、 表示色を設定します。

- 「クローズドキャプション」を選択して[OK]ボタンまたは[ポイント]ボタン右を押すと、サブメニュー2が表示されます。
- (2) [ポイント] ボタンの上下で設定する項目を選択し、
 [OK] ボタンで決定します。

(クローズドキャプション)

クローズドキャプションの表示(オフ /CC1/CC2/ CC3/CC4)を選択します。なお、「オフ」に設定す るとクローズドキャプションは表示されません。

「クローズドキャプション」を選択して [OK] ボタン を押すと△▽が表示されますので、[ポイント] ボタ ン上下で設定を切り換えます。

(カラー)

クローズドキャプションの表示色(カラー/ホワ イト)を設定します。

「カラー」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表 示されますので、[ポイント] ボタン上下で選択しま す。

<クローズドキャプションのご注意>

※工場出荷時は「オフ」、「カラー」に設定されています。

- ※ この機能は、入力信号がコンポジット、S-ビデオまたは Component で、かつシステムが Auto、NTSC または480iのときだけ使用できます。
- ※ システムが Auto であっても、NTSC あるいは 480i 以外 の信号の場合は使用できません。
- ※メニュー画面などが表示されているときには、クローズ ドキャプションは表示されません。

<u>クローズドキャプション</u>



(ランプモード)

ランプの明るさを「オートモード」、「ノーマルモード」、「エコ1モード」、「エコ2モード」の4段階で 切り換え・選択することができます。ご使用環境に 合ったモードを選択・ご使用ください。

「ランプモード」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽ が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を 切り換えます。

ランプ電源モート

- ↓ オートモード・・・・ 入力信号に応じてランプの明るさを自動的に調整します。
- ノーマルモード・・・ 通常の明るさで点灯します。
- エコ1モード ・・・ 通常の 70%~80% の明るさで点灯します。

● **エコ2モード ・・・** 通常の 50% の明るさで点灯します。

※ 消費電力を抑えたいときには「オート」、「エコ1」、「エコ2」モードをおすすめします。

🤇 ランプ電源モード 🗋

ランプの寿命を越えたときの、ランプの点灯動作を 設定します。

「ランプ電源モード」を選択して[OK] ボタンを押すと △▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設 定を切り換えます。

- **モード 1** ・・・ ランプ交換時期を越えても点灯できる モードです。
- **モード2** ・・・ ランプ交換時期を越えたときに、次の 点灯をできなくするモードです。
 - ※モード1は緊急の場合のみ使用してください。 プロジェクターご使用後すみやかに新しいラ ンプと交換してください。
 - ※ ランプ交換時期を越えているときに電源を入れると、ランプ交換表示が表示されたまま、約3分後に電源が切れます。(「オンスクリーン表示・オフ」のときは画面表示は出ません。)

各種機能の設定

リモコンコード

本機は2種類の異なるリモコンコードで操作するこ とができます。工場出荷時は「コード1」に設定さ れており、2台目のプロジェクター用(拡張用)と して「コード2」に設定することができます。本機 を2台ご使用の場合、リモコンコードを別々に設定 しておくと誤動作を防止できます。

- 「リモコンコード」を選択して[OK]ボタンまたは[ポ イント]ボタン右を押すと、サブメニュー2が表示 されます。
- ② [ポイント] ボタン上下で選択し、[OK] ボタンで 決定します。
- コード1 ・・・ 1 台目のプロジェクター用に使用し ます。
- **コード2** ・・・ 2 台目のプロジェクター用(拡張用) に使用します。
- ※プロジェクター本体のコードを「コード 2」に設定した ときは、リモコン本体のコードも「コード 2」に設定す る必要があります。 22ページ

<u>リモコンコード</u>



セキュリティ

操作ボタンのロックや、暗証番号でプロジェクター の操作をロックする設定をします。

- 「セキュリティ」を選択して[OK] ボタンを押すと サブメニュー2が表示されます。
- ② [ポイント] ボタンの上下でサブメニュー2の項目を 選択し、[OK] ボタンで決定します。

キーロック

操作ボタンをロックして、プロジェクターが誤って 操作されることを防ぎます。たとえば、リモコンを プロジェクターの鍵として使うこともできます。

- ①「キーロック」を選択して [OK] ボタンを押すと △▽が表示されますので、[ポイント] ボタン上下 で設定を切り換えます。
- ②[OK] ボタンを押して決定すると「OK?」の確認 画面が表示されます。
- ③「はい」を選択して[OK] ボタンを押すと登録が完 了します。「いいえ」を選択して[OK] ボタンを押 すと登録を中止し、サブメニュー2に戻ります。
- ※ △▽の表示で設定を切り換える場合、通常は[ポイント] ボタン上下で設定を切り換えた時点で設定が完了しま すが、「キーロック」については、設定を切り換えた後、 [OK] ボタンを押して決定する必要があります。
- ・・・ キーロックは「オフ」の状態です。
- 📭 ・・・ 操作パネルでの操作をロックします。

※ 工場出荷時は「オフ」に設定されています。

「暗証番号ロック」

暗証番号により、プロジェクターの管理者以外 のプロジェクターの操作を防止します。以下の モードを選択できます。

- オフ・・・「暗証番号ロック」を解除します。通 常の操作をすることができます。
- **オン1** ・・・ 電源を入れるときに暗証番号が要求されます。





各種機能の設定

(オン2)・・・・一度入力した暗証番号は、電源コードを抜くまで有効です。電源コードを抜くと、次に電源を入れたときに暗証番号が要求されます。電源コードを抜かずに、リモコンまたは操作パネルの〔① POWER〕ボタンで電源の入・切をする場合には、暗証番号は要求されません。

手 順

1 「暗証番号ロック」を選択し、[OK] ボタンを 押します。暗証番号を入力する画面が表示され ます。

※「オン」「オフ」のどちらを選択していても暗証番 号の入力画面が表示されます。

- 2 現在設定されている暗証番号を入力します。 ※下記の「暗証番号の入力方法」を参照してください。
- 3 暗証番号が承認されると、サブメニュー2に戻り、「暗証番号ロック」の設定を切り換えることができます。
- 4 [ポイント]ボタンの上下で設定を切り換えます。

※「オン1」、「オン2」のいずれかを選択すると、メニュー左下に鍵のアイコンが表示され、暗証番号ロックが掛かっていることをお知らせします。

暗証番号の入力方法

- [ポイント]ボタンの上下で0~9の数字を選択し、[ポイント]ボタン右でポインタを2けた目に移動します。(1けた目の表示が「*」に変わります。)この操作を繰り返し、4けた全ての数字を入力します。
- 2 4 けた全ての数字を入力したらポインタを [ポ イント] ボタン右で「セット」に移動します。
- **3** [OK] ボタンを押すと「はい」、「いいえ」の確認表示が現れます。
- 4 [ポイント] ボタンの上下で「はい」を選択して[OK] ボタンを押します。

※工場出荷時の暗証番号の数字は「1234」です。

※ 数字の入力をやり直すときは、[ポイント] ボタンの左 右で入力し直したいけたを選択し、[ポイント] ボタン 上下で数字を選び直します。 暗証番号ロック



暗証番号ロックの設定 を切り換えます



暗証番号ロックの 「オン 1」、「オン 2」 いずれかが選択さ れていることを表 しています。

次ページへ

前ページから

- ※「キャンセル」にポインタを合わせて [OK] ボタンを押す と現在の作業を中止し、サブメニュー2に戻ります。
- ※ [セット] を選択して [OK] ボタンを押したときに「暗 証番号」と入力した数字(見た目は「*」)が赤く表示さ れた場合には、入力エラーが発生しています。

暗証番号変更

ださい。

暗証番号を変更します。



- ┃「暗証番号変更」を選択し、[OK] ボタンを押し ます。暗証番号を入力する画面が表示されます。
- 2 現在設定されている暗証番号を入力します。 ※前ページの「暗証番号の入力方法」を参照してく
- 3 暗証番号が承認されると「新暗証番号」の画面 が表示されます。
- 4「新暗証番号」に、変更後の新しい暗証番号を 入力します。 ※ このときは暗証番号の承認時と異なり、入力した
 - 数字が見えます。変更後の数字をはっきり確認していただけるように数字を見せています。
- 5 新しい暗証番号を入力したらポインタを [ポイント] ボタン右で「セット」に移動し、[OK] ボタンを押して決定します。
- 6「OK?」の確認メニューが表示されますので、 [ポイント] ボタンの上下で[はい]にポインタを 合わせて[OK] ボタンを押します。新しい暗証 番号が登録されます。

🤍 メモ

- この機能の操作をやめるときは[ポイント]ボタンの左右で「キャンセル」を選択し、[OK]ボタンを押してサブメニュー2に戻ります。
- ※ もし、暗証番号を忘れたときは暗証番号を工場出荷状態 に戻してください。(() 99 ページ)

暗証番号変更



「はい」で新しい暗証番号の 登録完了 (ファン)

電源を切ったときの冷却ファンの回転動作を切り換 えることができます。

「ファン」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が表示 されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を切り換 えます。

- L1 ・・・ 自動でファンの回転速度を調整します。 ファンの音は「L2」より大きくなります。 電源を切ったとき、冷却のためにファン の回転速度が上昇し、投写時よりもファ ンの音が気になるときがあります。
- L2 ・・・ ファンの回転速度を投写時と同じに調整 し、ファンの音が大きくならないように します。ただし、「L1」よりファンの停止 に時間がかかります。

※工場出荷時は「L2」に設定されています。

ファン制御

プロジェクターの設置場所(高地での使用)などに よって、冷却ファンの回転動作を切り換えます。

「ファン制御」を選択して[OK]ボタンを押すと△▽が表示されますので、[ポイント]ボタン上下で設定を切り換えます。

- オフ・・・通常の回転速度です。
- <u>オン1</u>・・・ 海抜約 1200m を越える場所で使用す るときに設定します。
- **オン2** ・・・「オン 1」で有効な冷却効果が得られ ないときに設定します。

※工場出荷時は「オフ」に設定されています。

- ※ ファンの音は、「オフ」→「オン 1」→「オン 2」の順で 大きくなります。
- ※ これらの設定が適切でないと、プロジェクターの寿命を 縮めるほか、故障の原因にもなります。

フ	ア	ン





ファン制御



映像遅延制御

投写された映像のデジタル処理をより速くしたいと き、「オン」に設定します。

- ※ 映像遅延処理をしないときは「オフ」を選択してくださ い。工場出荷時は「オフ」に設定されています。
- ※「オン」に設定すると「画質調整(■ 64~67ページ)」の「プ ログレッシブ」と「ノイズリダクション」は、グレーで表示され選択できなくなります。

(フィルターカウンター)

エアフィルターに関する設定や使用時間のリセット を行ないます。

- 「フィルターカウンター」を選択して [OK] ボタン または [ポイント] ボタン右を押すと、サブメニュー 2 が表示されます。
- ② [ポイント] ボタン上下で選択し、[OK] ボタンで決 定します。

フィルターカウンター

使用時間を表示します。また、「タイマー」で設定 した時間を越えると、フィルターカウンターの時 間表示が赤色に変わります。

(タイマー)

エアフィルターの交換時期を知らせる表示を表示 させるまでの時間を設定します。

(オフ/1000時間/2000時間/3000時間/4000時間/5000時間/6000時間)

「タイマー」を選択して [OK] ボタンを押すと△▽が 表示されますので、[ポイント] ボタン上下で設定を 切り換えます。



各種機能の設定



投与中にエアノイルターの父操推奨時间になったとさ、画面石上に表示されます (約10秒間表示)

その後、下記の操作をしたときにも表示されます。

- ・電源を入れたとき(約4秒間表示)
- 「入力」を切り換えたとき(約4秒間表示)

 ※「オンスクリーン表示」を「オフ」() 80 ページ)に設定しているとき、または「FREEZE」、 「BLANK」() 40、41 ページ)が動作中のときは表示されません。
 ※「フィルターカウンター」をリセットすると、このお知らせ表示が消えます。 」 設

 \mathcal{O}

総消費電力削減量

削減された電力消費量及び CO2 排出量が表示され ます。

「総消費電力削減量」を選択して [OK] ボタンまたは [ポ イント] ボタン右を押すと総消費電力削減量が表示され ます。

総消費電力削減量のリセットのしかた。

- ①「リセット」を選択して[OK]ボタンを押すと「総 消費電力削減量リセット?」の確認画面が表示され ます。
- ぼはい」を選択して[OK] ボタンを押します。
- ③「OK?」の確認画面が表示されます。「はい」を選択して[OK] ボタンを押すと、カウンターがリセットされ、サブメニュー2に戻ります。
 - ※「いいえ」に合わせて [OK] ボタンを押すと、サ ブメニュー2に戻ります。
- ※ ランプモード:「ノーマル」に対し、ランプモード:「エコ 1」、 「エコ 2」、「オート」で削減した消費電力 /CO2 排出量を 積算表示します。





プロジェクターが表示した警告が表示されます。最 新のものから 10 件表示されます。

「警告履歴」を選択して [OK] ボタンまたは [ポイント] ボタン右を押すと警告履歴が表示されます。

※履歴が10件を超えると履歴の古いものから削除されます。※「初期設定」を実行すると、全て削除されます。

各種機能の設定

初期設定

下記以外の設定を、工場出荷状態に戻します。

- ・ ロゴ暗証番号ロック
- ・ 暗証番号ロック
- ・ユーザーロゴ
- •フィルターカウンター(使用時間、タイマー)
- ・総消費電力削減量 (CO2 排出量含む)

(手順)

- ①「初期設定」を選択して[OK]ボタンを押すと「初 期設定へ戻しますか?」の表示が現れます。
- ②「はい、いいえ」の確認画面で「はい」を選択して[OK] ボタンを押します。
- ③「OK?」の確認画面が表示されます。「はい」を選択して[OK]ボタンを押すと、設定が工場出荷時に戻ります。
- ※「いいえ」に合わせて[OK] ボタンを押すと、サブ メニューに戻ります。

初期設定



₩ ご注意

この設定が実行されると、お客さまが設定された内容はすべて失われ、各設 定内容は工場出荷時の状態に戻ります。

キーロックを解除したいときや、「ロゴ暗証番号ロック」「暗証番 号ロック」の暗証番号がわからなくなったとき

いったん電源コードを AC コンセントから抜き、[OK] ボタンを押しながら電源プラグを AC コンセントに差し込み、プロジェクターの電源を入れます。このとき、「POWER」インジケーターが 点灯するまで、[OK] ボタンを押し続けてください。

- ・「キーロック」は解除されます。
- ・「ロゴ暗証番号ロック」「暗証番号ロック」は、それぞれ工場出荷時の暗証番号に戻ります。エ 場出荷時の暗証番号は以下のとおりです。

「ロゴ暗証番号ロック」… 4321 「暗証番号ロック」… 1234



[LAMP REPLACE] インジケータと [ランプ交換] 表示について

[LAMP REPLACE] インジケータ(黄)の点灯は、ランプ交換時期の目安です。[LAMP REPLACE] インジケータが点灯したときは、ランプをすみやかに交換してください。

ランプを交換するまで電源「ON(入)」のときに点灯し ます。なお、点灯する前に寿命が尽きる場合もあります。 また、画面右上に現れる「ランプ交換」表示でもラン プ交換時期をお知らせします。 右図の「ランプ交換」が表示されたら、すみやかにラ ンプを交換してください。



※ 画面表示は約 10 秒間です。
※「オンスクリーン表示」を「オフ」にしているときは表示されません。

ランプ交換のしかた

ランプの交換はランプハウスごと行ないます。かならず指定のランプハウスを取り つけてください。交換ランプはお買い上げの販売店にご相談ください。また、ご注 文の際には、次のことをお知らせください。

・交換ランプの品番:LV-LP34

・プロジェクターの品番: LV-7490



動作中、ランプは大変高温になります。ランプを交換す るときは、本機の電源を切り、ファン停止後に電源コー ドを抜き、1時間以上放置してから行なってください。 動作停止後すぐに手で触ると、やけどをするおそれがあ ります。

保守とお手入れ

手 順

- 1 電源を切り、電源コードを抜きます。必ず1時間以上放置してください。
- 2 (+) ドライバーで1本ネジをゆるめ、ランプカバーを外します。
- **3** ランプハウスの3本のネジをゆるめ、ハンドルを持ってランプハウスごと引き出します。
- **4** 交換用のランプハウスを本体の奥までしっかり押し込み、3本のネジを締めて固定します。
- 5 ランプカバーを取り付け、ネジを締めて固定します。

ランプカバーの取り外し、取り付け



お保 手 入と れ

🦉 ランプが点灯しなくなってから交換するときのご注意

ランプが点灯しなくなってから交換するときは、ランプが破裂しているおそれ があります。とくに、天井から吊り下げてご使用中にランプを交換するときは、 ランプカバーの真下に立たずに、横から作業するようにしてください。ランプ カバーもそっと取りはずしてください。ランプカバーをはずすときにガラスの 破片が落ちてくる可能性があります。万一吸い込んだり、目や口に入った場合 はすみやかに医師にご相談ください。 ※14ページの「ランプについての安全上のご注意」もご参照ください。

お手入れについて

本機の性能を維持し、安全にご使用いただくために、注意事項をよくお読みの上、 正しくお手入れください。

● 長い間ご使用にならないとき ●

レンズや本体にホコリが付着しないよう、レンズキャップをはめ、ケースなどに納めて保管してください。

● キャビネットのお手入れ ●

キャビネットや操作パネルの部分の汚れはネルなどの柔らかい布で軽くふき取って ください。汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふ き取り、乾いた布で仕上げてください。

● キャビネットをいためないために ●

キャビネットにはプラスチックが多く使われています。キャビネットに殺虫剤など 揮発性のものをかけたり、ゴムや粘着テープ、ビニール製品を長期間接触させない でください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

● ベンジン・シンナーは使わないで ●

ベンジンやシンナーなどでふきますと変質したり、塗料がはげることがあります。 また化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きにしたがってください。

● レンズのお手入れ ●

レンズ表面の掃除は、カメラ用に市販されているブロワーブラシやレンズクリーナー (カメラやメガネの掃除用に市販されているクロスやペーパー)で行なってください。 レンズの表面は傷がつきやすいので、固いものでこすったり、たたいたりしないでく ださい。



可燃性の溶剤やエアースプレーをプロジェクターやその近くで絶対に使用しない でください。ランプの点灯により製品内部は非常に高温になっているため、電源 を抜いた後でも、爆発・火災が発生することがあります。また、可燃性のエアス プレーでなくても、冷気により内部部品が故障するおそれがあります。

エアフィルターの掃除・交換

エアフィルターは、内部のレンズやミラーをホコリや汚れから守っています。エアフィルターや吸気口にホコリがたまると冷却効果が悪くなり、内部の温度上昇をまねいて故障の原因になります。エアフィルター周辺の吸気口は、こまめに掃除してください。 3 12ページ

- 1 プロジェクターの電源を切り、冷却ファンの回転が止まったことを確認し、電源 プラグをコンセントから抜きます。エアフィルターの交換はかならず電源を切っ てから行なってください。
- 2 エアフィルターカバーを外し、中に装着されているエアフィルターを外します。

エアフィルターカバー(底面)





爪を上方に引っ張り外します。

手前にスライドさせて外します。





側面下部の2箇所の爪を手前に 引っ張って外します 手前に引っ張って外します。

- **3**エアフィルターのホコリを掃除機やブラシなどで取り除きます。
- **4** エアフィルターおよびエアフィルターカバーを取り付けます。(しっかりと確実に 取り付けてください。)
- **5** フィルターカウンターをリセットします。 **ア** 97 ページ

< ご注意 >

フィルターの掃除または交換の後には、必ずフィルターカウンターをリセットしてください。フィルターカウンターのリセットは、「設定」メニューの「フィルターカウンター」で行ないます。 (ア 97 ページ

お保 手守 入と れ ※「設定」メニューの「フィルターカウンター」の「タイマー」で設定した時間を 超えてエアフィルターを使用すると、「エアフィルターの交換時期をお知らせす る画面表示」が表示されますので、このときエアフィルターを交換してください。 ? 97ページ

※ ご注意

新しいエアフィルターを取り付ける時は、しっかりと確実にとりつけて ください。、エアフィルターが完全に挿入されていることを確認してく ださい。

エアフィルターが古くなったときには新しいものと交換してください。取り換え用エ アフィルター(別売)についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

・交換用エアフィルターのサービス部品番号

底面: DY5-2410-000

側面: DY5-2409-000

🎽 エアフィルターについてのご注意

- エアフィルターは再利用できません。
 エアフィルターの掃除などをして、再利用しないでください。使い終わりましたら、すみやかに新しいものと交換してください。
- エアフィルターは水洗いできません。
 エアフィルターが水などで濡れないようにご注意ください。故障の原因となります。
- ・エアフィルターの交換は電源が入っていないときに行なってください。
- エアフィルター交換後、「フィルターカウンターリセット」を忘れずに行なってください。
- エアフィルターはていねいに扱ってください。
 エアフィルターに穴があいたり、破れたりするとフィルター効果が損なわれます。
- エアフィルターの穴から内部へ、ものを差し込まないでください。
 内部には高電圧の部分や回転する部分があり、ふれると感電やけがの恐れがあります。また、冷却ファンの故障にもつながります。
- エアフィルターを取りはずした状態でプロジェクターを使用しないでください。
 液晶パネル、レンズ、ミラーなどを汚し、画質を損なう原因になります。

保守とお手入れ

内部温度の上昇について



[WARNING] インジケータの点滅

本機内部の温度が高くなると [WARNING] インジケータ が赤く点滅し、保護のため に自動的に電源が切れ、[POWER] インジケータが赤く点滅します。([WARNING] インジケータも点滅を続けます。)温度が下がると [POWER] インジケータが赤く点 灯し、リモコンおよび本体の [**()** POWER] ボタンで電源を入れることができます。 電源を入れると [WARNING] インジケータの点滅が消えます。[WARNING] インジ ケータの点滅が消えないときは、次のことを確認してください。

ここを確認してください

や事故の原因となります。

- エアフィルター付近にホコリがたまっていませんか。エアフィルター付近を掃除 してください。
- 排気口や吸気口がふさがれていませんか。通気を妨げるような設置をしないでく ださい。
- 使用温度範囲を超えた温度の場所で使用していませんか。(使用温度範囲:5℃~ 35℃)
- 上記のいずれでもない場合は、冷却ファンまたは内部回路の故障が考えられます。
 お買い上げの販売店または修理相談窓口にご相談ください。

電源を入れるときは、[POWER] インジケータが点灯していることを確認してください。内部の温度が下がっていない場合は、再び [WARNING] インジケータが点滅して電源が切れます。

プロジェクターの電源が切れ、[WARNING] インジケータが点灯しているとき

プロジェクター内部で異常が検出されると、プロジェクターの電源が切れ、 [WARNING] インジケータが点灯(赤)を始めます。このとき、リモコンおよび操作 パネルの[**心** POWER] ボタンでの「電源入り・切り」はできなくなります。 このような時は、電源コードを一旦コンセントから抜いて電源を入れなおし、プロ ジェクターの動作を確認してください。再び電源が切れ、[WARNING] インジケータ が点灯する場合、プロジェクターの点検をお買い上げの販売店、または修理相談窓

口にご依頼ください。電源コンセントを接続したまま放置しないでください。火災

インジケータ表示とプロジェクターの状態

プロジェクターの各インジケータはプロジェクターの動作状態を表示しています。 ご使用中うまく動作しないなど、動作が不明なときは下表にしたがい各インジケー タでプロジェクターの動作を確認してください。

また、インジケータはメンテナンスをお知らせします。プロジェクターをよりよい 性能で長期間ご使用いただくために、これらのインジケータの指示にしたがい適切 なメンテナンスを行なってください。

	インジケータ			
	POWER 緑 / 赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	プロジェクターの状態
正常な動作のとき				電源コードがコンセントから抜けています。
	\oslash		*	プロジェクターはスタンバイ状態です。 [少 POWER]ボタンを押すと動作します。
	\bigcirc		*	プロジェクターは正常に動作しています。
			*	ランプの冷却中です。 [POWER] インジケータが赤の点灯に変わるまで [心 POWER] ボタンを押して始動することはで きません。
			*	パワーマネージメントモードになっています。 プロジェクターを操作するとランプが点灯し、プ ロジェクターが動作をはじめます。
内部の温度に異常があるとき		$\bigotimes^{1/2}$	*	プロジェクターの内部温度が高くなっています。 [Ů POWER] ボタンを押しても電源は入りませ ん。プロジェクターが冷却され、正常な温度にな ると、[POWER] インジケータが点灯(下記枠内 の状態)に変わります。
	\bigcirc	Ŵ/	*	内部の冷却が完了し、正常な温度に戻りました。 ([WARNING] インジケータは点滅したままです) [○ POWER] ボタンを押すと、[WARNING] イン ジケータの点滅は消え、プロジェクターが動作し ます。エアフィルターの点検などを行なってくだ さい。

保守とお手入れ

インジケータ表示とプロジェクターの状態 (orde)

	インジケータ			
	POWER 緑 / 赤	WARNING 赤	LAMP REPLACE 黄	プロジェクターの状態
内部電源に異常があるとき	•	\bigotimes	*	プロジェクターの内部に異常が検出されました。 [() POWER] ボタンを押しても電源は入りません。 一度電源を切り、電源コードをコンセントから抜き、 電源を入れ直してください。再び電源が切れ、イン ジケータが点灯するときは、電源コードをコンセン トから抜き、点検と修理を修理相談窓口へご依頼く ださい。点灯したままで放置しないでください。火 災や感電の原因となります。
ランプに異常があるとき	*	*		ランプ交換推奨時間に達しました。 また、画面右上にも ♥が表示され交換をお知らせ します。速やかにランプを交換してください。[LAMP REPLACE] インジケータが点灯するまでの時間は、 ご使用状況(ランプモードの状態)によって異なり ます。

お保 手 入 と れ

○ ・・・点灯:緑 ՝ ・・・点滅:緑 ⊘ ・・・点灯:赤 淤 ・・・点滅:赤

● ・・・点灯:黄 ● ・・・消灯

* で表されているインジケータについて

* で表されているインジケータは、他のインジケータがどのような状態のときで も該当のインジケータが点灯・点滅することを意味しています。たとえば [LAMP REPLACE] インジケータが点灯するとき、[POWER] インジケータは点灯・点滅・ 消灯のいずれの場合もある、ということです。

故障かなと思ったら

アフターサービスを依頼される前に、次のことをお確かめください。

	こんなときは	ここを確認してください	参照 ページ
	電源が入らない	● 電源コードは接続されていますか。	28
電		● 電源は入っていますか。[少 POWER] ボタンを押してみて ください。	30
		● [POWER] インジケータが消えているときは、[○ POWER] ボタンを押しても電源が入りません。	105 ~ 107
源・初		● [WARNING] インジケータが赤く点滅しているときは、内 部の温度が過度に高くなっており [少 POWER] ボタンを	105 ~ 107
初期		押しても保護のため電源は入りません。温度が 下がるまで お待ちください。	
設定		●「キーロック」がはたらいていませんか。リモコンまたは操 作パネルの〔 ○ POWER〕ボタンを押してみてください。	92
	電源を入れたら、 暗証番号を要求さ れた	●「暗証番号ロック」が設定されています。登録した(または 工場出荷時の)暗証番号を入力してください。解除、また は設定の変更は「設定」の「暗証番号ロック」を確認して ください。	92
	オープニング画面 が出ない	 「オンスクリーン表示」が「オフ」または「カウントダウン オフ」になっていませんか。「設定」を確認してください。 	80
オープニング	オープニング画面 が初期設定の画像 とちがう	●「ロゴ選択」が「ユーザー」または「オフ」になっていませんか。 「設定」を確認してください。	81
	入力モードが自動 的に切り換わる(切 り換わらない)	●「オートインプット」が「オン 2」(または「オン 1・オフ」) に なっていませんか。「設定」を確認してください。	78
画	画像が映らない	● コンピューターやビデオ機器は正しく接続されていますか。 接続を確認してください。	25 ~ 27
		● 電源を入れたあと約 30 秒間はオープニング画面が出て、画像は映せません。(「オンスクリーン表示・オフ」、「カウントダウン・オフ」のときをのぞく)	80
像		● レンズカバーを取りましたか。	
画質		 コンピューターモードのときは、コンピューターのシステムモードが、ビデオモードのときは信号の種類とカラーシステムや走査方式が合っていますか。 	52 ~ 55
		●使用温度範囲(5℃~35℃)からはずれていませんか。	11
		●「BLANK」モードになっていませんか。リモコンの [BLANK] ボタンを押してみてください。	41
故障かなと思ったら (วづき)

	こんなときは	ここを確認してください	参照 ページ		
	画像が映らない (つづき)	 コンピューターが外部出力に切り換わっていますか。出力の切換はコンピューターの使用説明書をご覧ください。 コンピューターを再おもしてひてください。 			
	画像が不鮮田	 コノビューターを再起動してみてくたさい。 フォーカスは合っていますか、フォーカスを合わせてく 	37		
	画家//*/*#-93	ださい。	•		
		 スクリーンとの距離がフォーカスの合う範囲からはずれていませんか。 	23		
		● スクリーンに対して過度に斜めに投写しているときは、 画面に台形ひずみ (あおり) ができ、部分的にフォーカ スが合わなくなることがあります。	23		
		 温度の低い所から急に暖かい所へ持ち込んだとき、空気中の水分がレンズやミラー表面に結露し、画像がぼやけることがあります。しばらくすると通常の画像に戻ります。 			
画 像		 レンズが汚れたり、くもってはいませんか。レンズのお 手入れをしてください。 	102		
・画	画面が暗い	通面が暗い ●「コントラスト」や「明るさ」が、正しく調整されていま すか。調整してみてください。			
質 (つ		●「画質モード」が、正しく選択されていますか。「画質選択」 メニューを確認してみてください。			
うづき)		●「ランプモード」で、「エコモード」が選択されていませんか。「エコモード」は他のモードよりも暗くなります。	40、90		
		 ランプ交換時期が来ていませんか。ランプの輝度は寿命が近づくにつれじょじょに暗くなる性質があります。 [LAMP REPLACE] インジケータ(黄)の点灯と画面表示でランプ交換時期をお知らせします。インジケータの点灯や画面表示が現れたら、新しいランプに交換してください。 	100		
	画像の色がおか しい・色が出ない	 入力信号の種類、カラーシステムや走査方式、または、 コンピューターのシステムモードは合っていますか。また、「画質の調整」を確認してください。 	52 ~ 55 62 ~ 63		
		● リモコンの [IMAGE] ボタン、または「メニュー」から「画 質モード」を確認し、適切な色に調整してください。	39 62 ~ 63		
	逆さまに映って いる	●「リア投映」や「天吊り」機能が「オン」になっていませんか。「アスペクト」メニューを確認してください。	71~72		
	画像がゆがんだり 切れたりする	●「PC 調整」や「アスペクト」メニューを確認・調整して ください。	56 ~ 60 68 ~ 76		

お保 手守 入 れ

故障かなと思ったら (っづき)

	こんなときは	しなときは ここを確認してください		
	オート PC が働か ない	 入力信号を確認してください。 システムメニューで、480p、575p、720p、480i、 575i、1035i、1080iが選択されているときは、オート PC 機能ははたらきません。 	112~114 56	
	表示されない機能 がある	●「オンスクリーン表示」が「オフ」になっていませんか。「設 定」を確認してください。	80	
	電源を切る前の設 定が残っていない	● 項目の調整後に「メモリー登録」を実行しましたか。「メ モリー」で登録しないと保存されない項目があります。	59、65	
	「パワーマネージメ ントモード」が働 かない	●「FREEZE」、「BLANK」の動作中は「パワーマネージメント モード」は作動しません。	85	
設定	「キャプチャー」 が働かない	● 無信号状態ではないですか。接続を確認してください。	25~27	
正・操作	「コンピューター 2」が表示されな い	●「端子設定」が「モニター出力」になっていませんか。「設 定」を確認してください。	84	
· 調整	選択できない メニューがある	●ビデオ入力画面とコンピューター入力画面では、選択できるメニューにそれぞれ制限があります。		
	オートセットアッ プが正しく作動し ない	 設定が「オフ」になっていませんか。「設定」を確認してください。 「天吊り」が「オン」になっていませんか。「アスペクト」メニューを確認してください。 	78 71、72	
	プロジェクターを 傾けたのにキース トーンがはたらか ない	 ●操作パネルの [AUTO SET] ボタンを押してみてください。 ●「オートキーストーン」の設定が「手動」になっていませんか。「設定」を確認してください。 	37 79	
	自動的に電源が切 れる	● 工場出荷時の設定で「パワーマネージメントモード」機 能が設定されています。「設定」を確認してください。	85	
	操作パネルで操作 できない	●「キーロック」で操作パネルからの操作をロックしてい ませんか。リモコンから「設定」を確認してください。	92	
	リモコンで操作 できない	● 電池は正しく入っていますか。+-を正しく入れてくだ さい。		
リモコ		● 電池がなくなっていませんか。新しい電池と交換してく ださい。	21	
ン		●本体のリモコン受光部とリモコンの間に障害物はないですか。リモコンはリモコン受光部に向けて操作してください。障害物があれば移動させてください。	22	

故障かなと思ったら (วづき)

	こんなときは	ここを確認してください	参照 ページ
	リモコンで操作 できない (つづき)	● リモコンの受信範囲から、はずれていませんか。受信範 囲で操作してください。	22
モコ		● リモコンコードを切り換えていませんか。リモコンコー ドを確認してください。	22
ン		●「キーロック」でリモコンからの操作をロックしていま せんか。操作パネルから「設定」を確認してください。	92
	音が出ない	● コンピューターやビデオ機器の音声は正しく接続されていますか。接続を確認してください。	25~27
		● 音量が最小になっていませんか。[VOLUME +] ボタ ンを押してみてください。	42
		● 消音状態になっていませんか。[MUTE]ボタンを押 すか、[VOLUME +]ボタンを押してみてください。	42
音声		● [AUDIO OUT] 端子にプラグがささっていませんか。 [AUDIO OUT] 端子にプラグがささっていると内蔵ス ピーカから音は出ません。	25~27
		 ● 抵抗内蔵のオーディオケーブルを使用していません か。抵抗なしのオーディオケーブルを使用してくだ さい。 	
		●「入力」で選択した信号の映像が投写されていますか。 接続していても映像が投写されていなければ音は出ません。接続を確認してください。	25~27
	インジケータが点 滅・点灯している	●「インジケータ表示とプロジェクターの状態」で、プロ ジェクターの動作を確認してください。	106、107
その他	キーロックの解除 ができない ロゴ暗証番号・暗 証番号を忘れた	● 解除方法を確認してください。	
	ボタンを押したの に、 <u></u> の が表示さ れた	 プロジェクターがその操作を受け付けられないことをお 知らせする表示です。接続や入力信号などを確認してみ てください。 	

お保 手守 入と れ



プロジェクターにはあらかじめ以下のシステムモードが用意されています。(「カス タムモード 1 ~ 10 」は含みません。)接続されたコンピューターの信号を判別して、 プロジェクターが以下のシステムモードを自動で選択します。

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	
VGA1	640x480	31.47	59.88	1
VGA2	720x400	31.47	70.09	1
VGA3	640x400	31.47	70.09	1
VGA4	640x480	37.86	74.38	1
VGA5	640x480	37.86	72.81	1
VGA6	640x480	37.50	75.00]
VGA7	640x480	43.269	85.00	1
MAC LC13	640x480	34.97	66.60]
MAC 13	640x480	35.00	66.67]
480p	640x480	31.47	59.88]
575p	768x575	31.25	50.00]
575i	768x576	15.625	50.00	* i
480i	640x480	15.734	60.00	* i
SVGA1	800x600	35.156	56.25	
SVGA2	800x600	37.88	60.32]
SVGA3	800x600	46.875	75.00	1
SVGA4	800x600	53.674	85.06]
SVGA5	800x600	48.08	72.19]
SVGA6	800x600	37.90	61.03]
SVGA7	800x600	34.50	55.38	1
SVGA8	800x600	38.00	60.51]
SVGA9	800x600	38.60	60.31]
SVGA10	800x600	32.70	51.09]
SVGA11	800x600	38.00	60.51]
MAC16	832x624	49.72	74.55]
MAC19	1024x768	60.24	75.08]
XGA1	1024x768	48.36	60.00	1
XGA2	1024x768	68.677	84.997	1
XGA3	1024x768	60.023	75.03]
XGA4	1024x768	56.476	70.07]

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	
XGA5	1024x768	60.31	74.92	1.
XGA6	1024x768	48.50	60.02	1
XGA7	1024x768	44.00	54.58	
XGA8	1024x768	63.48	79.35	
XGA9	1024x768	36.00	87.17	* i
XGA10	1024x768	62.04	77.07	
XGA11	1024x768	61.00	75.70	
XGA12	1024x768	35.522	86.96	* i
XGA13	1024x768	46.90	58.20	
XGA14	1024x768	47.00	58.30	
XGA15	1024x768	58.03	72.00	
SXGA1	1152x864	64.20	70.40	
SXGA2	1280x1024	62.50	58.60	
SXGA3	1280x1024	63.90	60.00	
SXGA4	1280x1024	63.34	59.98	
SXGA5	1280x1024	63.74	60.01	
SXGA6	1280x1024	71.69	67.19	
SXGA7	1280x1024	81.13	76.107	
SXGA8	1280x1024	63.98	60.02	
SXGA9	1280x1024	79.976	75.025	
SXGA10	1280x960	60.00	60.00	
SXGA11	1152x900	61.20	65.20	
SXGA12	1152x900	71.40	75.60	
SXGA13	1280x1024	50.00	86.00	* i
SXGA14	1280x1024	50.00	94.00	* i
SXGA15	1280x1024	63.37	60.01	
SXGA16	1280x1024	76.97	72.00	
SXGA17	1152x900	61.85	66.00	
SXGA18	1280x1024	46.43	86.70	* i
SXGA19	1280x1024	63.79	60.18	
SXGA20	1280x1024	91.146	85.024	
SXGA+ 1	1400x1050	63.970	60.190	
SXGA+ 2	1400x1050	65.350	60.120	
SXGA+ 3	1400x1050	65.120	59.900	
MAC21	1152x870	68.68	75.06	

画面表示	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
MAC	1280x960	75.00	75.08
MAC	1280x1024	80.00	75.08
WXGA1	1366x768	48.36	60.00
WXGA2	1360x768	47.70	60.00
WXGA3	1376x768	48.36	60.00
WXGA4	1360x768	56.16	72.00
WXGA6	1280x768	47.776	59.870
WXGA7	1280x768	60.289	74.893
WXGA8	1280x768	68.633	84.837
WXGA9	1280x800	49.600	60.050
WXGA10	1280x800	41.200	50.000
WXGA 11	1280x800	49.702	59.810
WXGA12	1280x800	63.980	60.020
WUXGA 1	1920x1200	74.556	59.885
WUXGA 2	1920x1200	74.038	59.950
WSXGA+ 1	1680x1050	65.290	59.954
WXGA+ 1	1440x900	55.935	59.887
WXGA+ 2	1440x900	74.918	60.000
UXGA1	1600x1200	75.00	60.00
UXGA2	1600x1200	81.25	65.00
UXGA3	1600x1200	87.5	70.00
UXGA4	1600x1200	93.75	75.00
720p	1280x720	37.50	50.00
720p	1280x720	45.00	60.00
1035i	1920x1035	33.75	60.00
1080i	1920x1080	33.75	60.00
1080i	1920x1080	28.125	50.00

※ 仕様は改善のため予告なしに変更する場合があります。

※ ドットクロックが 140MHz 以上のコンピューターの信号には対応しておりません。

※ SXGA、WXGA、UXGA、MAC21、MAC、720p、1035i、1080iの信号を投写するときは、線 や文字がオリジナルの画像と多少異なる場合があります。

i

*****i:インターレース信号

付録

メニュー内容一覧





PC 調整

ーー オート PC
トラッキング ―― 0-31
――総ドット数
──水平位置
━━ 垂直位置
- 垂直周波数
ー クランプ
——画面領域 H
──画面領域 V
ーリセット ーーーはい/いいえ
── データ消去 ──── モード 1 ~ 10
└──メモリー ────モード1~10



付 録

メニュー内容一覧 (วづき)



画質調整 ___ -赤 — 一緑 _____0-63 一青 _____0 - 63 一 画 質 --------0 - 15 □______0-15 一ガンマ補正 ────0-15 ーノイズリダクション^{*}---オフ/L1/L2 ープログレッシブ^{*}------オフ / L1 / L2 / フィルム ーリセット ――――はい/いいえ ーメモリー ーーーーコーザー1~4 * ビデオ入力の時のみ表示



付録

メニュー内容一覧 (っづき)





プロジェクター本体

型名	LV-7490
種類	液晶プロジェクター
表示方式	液晶パネル3枚3原色液晶シャッター方式
液晶パネル	サイズ:0.63型x3 アスペクト比4:3
	駆動方式 : ポリシリコン TFT アクティブマトリクス
	画素配列:ストライプ
	画素数 :786,432 画素 (1,024 × 768) × 3 枚、総画素数 2,359,296 画素
投写レンズ	手動ズーム・フォーカス(1~ 1.2 倍) F=1.6-1.76 f=22.3-26.8mm
光源	245W UHP ランプ
画面サイズ	最小 40 ~最大 300 型(1.4m ~ 12.7m) 100 型:3.5m ~ 4.2m
明るさ	4000lm (画質モード:プレゼンテーション選択時)
	(ランプモード:ノーマル選択時)
コントラスト比	2000:1 (画質モード:プレゼンテーション選択時)
	(ランプモード:オート選択時)
周辺照度比	85%
入出力	
COMPUTER IN 1/	アナログ RGB 入力 (入力 1 系統): ミニ D-sub 15 ピン
COMPONENT IN	アナログ RGB 信号 :0.7Vp-p、正極性、インピーダンス 75 Ω
	水平・垂直同期:TTL レベル、負または正極性
	(G信号中のコンポジット同期:0.3Vp-p、負極性、インピーダンス)
	コンボーネント:セバレート Y Cb/Pb Cr/Pr 信号、ミニ D-sub 15 ビン
	Y;1Vp-p、同期負、インビータンス /5 Ω
	Cb/Pb;U./Vp-p、インヒータンス /5 Ω
	Cr/Pr;0.7Vp-p、インビータンス 75 Ω
COMPUTER IN 2/	アナロク RGB 人力 (人力 1 糸統): ミニ D-sub 15 ビン
MONITOR OUT	アナロク RGB 信号 :0.7Vp-p、止極性、インビータンス 75 Ω
	水平・垂直同期:TTLレベル、負または正極性
	(G信号中のコンボジット同期:0.3Vp-p、負極性、インビータンス)
	(5Ω)
	アナロク KGB 出力 (出力 糸統): ミニ U-Sub 15 ビン
	映像:ビンジャック、IVP-p、同期員、インビータンス /5 Ω
S-VIDEO IN	S 映像:セハレート YC 信号、ミニ DIN 4 ビン
	Y;IVP-p、同期負、インビーダンス /5 Ω
	└;U.280VP-P(ハー人ト信亏)、インヒータン人 /5 Ω
	 こージャック みもう 変体(フラレオ) 400~1/mc - インピーガンフ 47/ 0
	ミーフィック ハル2 赤杭 (ヘノレオ)、4000000005、4 フビーダフス 4/N 12 1/1 トー ATIDIO INI2 (MIC IN 美田)
	メエ、 NODIO INZ (MIC IN 新用) ピンジャック (ステレオ) 400mVrms インピーダンス 47K OIV ト(モエノ・モ)
	以上、AUDIO IN2 (MIC IN 兼用) ピンジャック (ステレオ)、400mVrms、インピーダンス47K Ω以上(左モノ:右)

付録

プロジェクター本体 (っづき)

音声	(コンピューター / ビデオ兼用):ミニジャック(ステレオ)、可変出力、
AUDIO OUT	インピーダンス 1K Ω以下
制御入出力、他	コントロールポート:D-sub 9 ピン
	LAN 端子: RJ-45
音声出力	モノラル 10W (JEITA)
スピーカ	3.7 cm 円形1個
入力対応	水平 15k ~ 100kHz、垂直 50 ~ 100Hz
走查周波数	ドットクロック 140MHz 以下(G on Sync 対応
カラーシステム	6 システム (NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43/PAL-M/PAL-N)
使用環境温度	5℃~ 35℃
保存温度	-10°C∼ 60°C
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	322W、226W、184W (ランプモード「ノーマル / エコ 1 / エコ 2」時)
待機中消費電力	6.2W/0.5W(スタンバイモード「ネットワーク / エコ」時)
本体寸法	幅 350.0 ×高さ 87.5 ×奥行 254.4 mm (突起物を含まず)
質量	3.3 Kg

リモコン

電源	DC3.0V 単 4 形乾電池 2 本使用
到達距離	約 5m (受光部正面)
本体寸法	幅 52.0 ×高さ 18.0 ×奥行 110.0mm
質量	67.0g (電池を含む)

付属品

リモコン(MXCP)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	個 本 *		
 ■ ぷ □ - ト 電源プラグアダプタ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1	~個本	(+====	
(使用説明書) 保証書 レンズキャップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	2	뻬個	(本書、	万寸冊1)
レンズキャップ用ひも PIN コードラベル	1	「本枚」		
フィルターカバー ••••••• キャリングケース •••••	1 · 1	個 個		

別売品

ランプ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	品番:LV-LP34
D-sub / コンポーネント ケーブル ・・・・・・・	品番:LV-CA32
リモコン ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	品番:LV-RC03
天吊金具用ベース金具 ・・・・・・・・・・・・・・	品番:LV-CL16
低天井用天吊金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	品番:LV-CL18
高天井用天吊金具・・・・・・・・・・・・・・・・・・	品番:LV-CL19

- ※ 高調波電流規格 JISC 61000-3-2:2005 適合品
- ※ 液晶パネルの有効画素数は 99.99 % 以上です。投写中 0.01 % 以下の点灯したままの点や、 消灯したままの点が見られる場合があります。これは液晶パネルの特性で生じるもので故障 ではありません。

※このプロジェクターは日本国内用に設計されております。電源電圧が異なる外 国ではお使いいただけません。 ※仕様および外観は改善のため予告なく変更する場合があります。

※説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標です。

寸法図

単位:mm





➤ 天吊り金具用のビス穴 ビス径:M4 深さ:12mm

端子の仕様

COMPUTER IN 1/2/COMPONENT IN/MONITOR OUT (コンピューター入力 / コンポーネント入力 / モニター出力端子)

コンピューター入力・コンポーネント入力・モニター出力の入出力端子として動作します。接続には、コンピューター接続ケーブル(D-sub用)、D-sub/コンポーネントケーブルを使用します。



1	R/Cr 入出力	9	+ 5V パワー / 未接続
2	G/Y 入出力	10	接地(垂直同期)
3	B/Cb 入出力	11	接地
4	未接続	12	DDC データ / 未接続
5	接地(水平同期)	12	水平同期 入出力
6	接地 (R)	13	(コンポジット:水平垂直同期)
7	接地 (G)	14	垂直同期 入出力
8	接地 (B)	15	DDC クロック / 未接続

CONTROL PORT (コントロールポート端子)

シリアルでコンピューター機器からプロジェクターを操作するときに、コンピューター機器との接続に使用する端子です。



1	未接続	6	未接続
2	RXD	7	未接続
3	TXD	8	未接続
4	未接続	9	未接続
5	SG		· · · ·



有線 LAN 端子を接続します。





1	TX +	5	未接続
2	тх —	6	RX —
3	RX +	7	未接続
4	未接続	8	未接続

暗証番号が登録されていることをラベルでわかるようにしましょう

暗証番号を登録して暗証番号を有効にしているとき、暗証番号が登録されていることが一目でわかるように付属のラベルを本体の目立つところに貼り付けます。



フィルターカバーを取り付けます

付属のフィルターカバーは、天井にプロジェクターを取り付けるとき、フィルターの上にほこりが蓄積するのを防ぐように設計されています。

プロジェクターを裏返します。

プロジェクターに付いているフィルターカバーを付属のフィルターカバーに取り替えます。

天吊金具用ベース金具に付属の説明書に従って、天 吊金具用ベース金具にプロジェクターを取り付けて ください。

※取り替えたフィルターカバーは大切に保 管してください。

※ LV-CL16 を使用して天吊りする場合、フ ィルターカバーは必要ありません。 天吊金具用ベース



PJ Link について

このプロジェクターは JBMIA(Japan Business Machine and Information System Industries Association:社団法人 ビジネス機械・情報システム産業協会)の PJLink 標準定義の Class1 に準拠しています。このプロジェクターは、PJLink Class1 によっ て定義されたすべてのコマンドをサポートして、PJLink 標準定義 Class1 との適合を 検証しています。

プロジェクターの入力名		PJ Link		
		入力名	パラメータ	
COMPUTER 1	PUTER 1 ANALOG PC RGB 1		11	
	COMPONENT	VIDEO 2	22	
	SCART	RGB 2	12	
COMPUTER 2 (ANALOG PC)		RGB 3	13	
VIDEO	VIDEO	VIDEO 1	21	
	S-VIDEO	VIDEO 5	25	

PJ Link について

2003 年 9 月、データプロジェクタ部会の中に、PJLink 分科会が設立されました。この PJLink 分科会の第 1 期の活動において、 プロジェクターの新たなインターフェース仕様として PJLink が規定されました。

PJLink はプロジェクターを操作・管理するための統一規格です。

メーカを問わずに、プロジェクターの集中管理やコントローラからの操作を実現します。 今後主流となるネットワーク経由のプロジェクター監視・制御において、早期の体系化を JBMIA による推進で実現し、ユーザの利便性をあげ、プロジェクターの普及促進を図ることを 目的としています。

Class 1: プロジェクタの基本機能の制御・監視仕様を標準化 基本的なプロジェクタ制御:電源制御、入力切り換えなど プロジェクタの各種情報・状態を取得:電源状態、入力切り換え状態、エラー状態、ランプ使 用時間など

JBMIA:社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会。 1960年に発足した日本事務機械工業会が、2002年4月1日より改称した団体です。



PJLink サイト URL http://pjlink.jbmia.or.jp PJLink は JBMIA の登録商標です。

付

録

保証とアフターサービス

■ この商品には保証書がついています

保証書は、同梱されています。お買い上げ日、販売店名などが記入されていることを お確かめのうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。 なお、保証内容については、保証書に記載しております。

■修理サービスのご相談

修理サービスのご相談は、下のキヤノンお客様センターにご相談ください。(ランプ はキヤノンホームページからもご購入いただけます。)

■ 補修用性能部品について

この保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち 切り後7年間です。(補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部 品です。)

■修理を依頼される前に

「故障かなと思ったら」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない 場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■ 修理を依頼される際にご連絡いただきたいこと

●お客さまのお名前

- ●ご住所、お電話番号
- ●商品の品番、機番
- 故障の内容(できるだけ詳しく)

【修理方法】

本商品は、引取修理させていただきます。

お客様先に商品を引取にお伺いし、修理完了後にお届けいたします。また、ご要望により 代替機の貸出サービスを準備しております。

〈修理料金〉

∕₽☶曲問巾	引取修理サービス	無償
	代替機貸出サービス	無償
保証期間終了後	引取修理サービス	有償
	代替機貸出サービス	有償

サービス保証とアフタ

また、代替機については、在庫状況によりご希望にそえない場合があります。あらかじめご 了承ください。

※ 引取修理サービスは、国内のみのお取り扱いとなります。

[※] 上記、引取修理サービスおよび代替機の貸し出しは、キヤノンお客様相談センターにてサー ビスをご利用いただいた場合に適用されます。



お客さまメモ					
品番	LV-7490				
お買い上げ年月日		年	月	E	
お買い上げ店名	ā				

Canon

お客様相談センター(全国共通番号) 050 - 555 - 90071

[受付時間] 〈平日〉9:00~12:00/13:00~17:00
 (土日祝日と年末年始弊社休業日は休ませていただきます)
 ※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9348 をご利用ください。
 ※上記番号は IP 電話プロバイダーのサービスによりつながらない場合があります。
 ※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめ御了承ください。